

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Web Client 2022 R2

ユーザーマニュアル



目次

著作権、商標、および免責条項	4
サポートされるVMS製品とバージョン	5
概要	6
XProtect Web Client	6
新機能	6
XProtect Web Client 2022 R2の新機能	6
要件と注意事項	8
受信音声の再生条件	8
プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件	8
ダイレクトストリーミングの要件	8
設定	10
設定	10
ダイレクトストリーミング（説明付き）	11
アダプティブストリーミング（説明付き）	12
カメラの録画の管理（説明付き）	12
録画および調査の保存期間と保管（説明付き）	13
受信音声の再生(説明付き)	14
プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）	14
デジタルズームと光学ズーム（説明付き）	15
操作	17
ログイン	17
初回ログイン	17
パスワードの変更	18
ホームページの概要	19
カメラの検索	20
カメラに移動する	21
ライブビデオを見る（説明付き）	22
ブックマーク（使用）	25

ブックマーク（説明付き）	25
ブックマークの詳細を表示するか、ブックマークのビデオクリップを再生する	25
ブックマークを追加または編集する	27
ブックマークを削除	32
ブックマークをフィルタリングする	32
ライブモードで受信音声を再生	37
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用	38
ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する	39
1台のカメラから録画を再生する	39
ビデオ録画における音声の再生（説明付き）	42
複数のカメラからの録画映像（説明付き）	44
再生するビデオの時間を指定する	45
再生をオンまたはオフにする	47
再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。	48
調査エリア内のカメラ（説明付き）	48
調査タイムラインの使用（説明付き）	49
1つかそれ以上のカメラで調査を作成する	50
カメラを既存の調査に追加	52
既存の調査からカメラを削除する	55
調査を更新または削除する	56
映像のエクスポートとダウンロードを準備する	57
XProtect Web Clientページの共有（説明付き）	60
アラームを表示	60
アクションの有効化	62
PTZコントロール	63
デジタルズームの使用	63
光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）	64
アップグレード	65
XProtect Web Clientのアップデート	65

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2022 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

サポートされるVMS製品とバージョン

このマニュアルでは、次のXProtectVMS製品によりサポートされる機能が記載されています。

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+

Milestoneは、上記のXProtect VMS製品の現行のバージョンと以前の2つのバージョンを使用して、本書に記載されている機能をテストします。

新しい機能が現在のリリースバージョンでのみサポートされており、以前のリリースバージョンではサポートされていない場合は、機能の説明にこれに関する情報が記載されています。

下記の廃止されたXProtectVMS製品でサポートされているXProtectクライアントとアドオンのドキュメントは、Milestoneダウンロードページ (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) に掲載されています。

- XProtect Enterprise
- XProtect Professional
- XProtect Express
- XProtect Essential

概要

XProtect Web Client

XProtect Web Clientを使用して以下を実行：

- ウェブブラウザ内でライブビデオとビデオ録画を表示する。
- ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加する。
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する。
 - 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能を使用する。
 - ライブモードで複数のカメラに音声をブロードキャストする。
 - 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する。
- 調査を作成する。
- 録音/録画された受信音声と送信音声付き/なしのビデオエクスポートをダウンロードする。
- ビデオ監視システムでイベントをトリガーするアクションを起こす。
- 様々なイベントで引き起こされたアラームのビデオを確認します。

新機能

XProtect Web Client 2022 R2の新機能

トップのメニューバー：

- **ホーム**ページのトップメニュー上部の左側にグループ化されたすべての機能タブがあります。ユーザーメニューと**その他**メニューは、トップメニューバーの右側にあります（[ページ19のホームページの概要](#)を参照）。

音声：

- **ライブ**タブで、指定のカメラからライブビデオを視聴中や音声と共にビデオを再生中に、別のタブに移動した場合、**ライブ**タブに戻ると音声の再生が自動的に再開され、指定のカメラからの動画が引き続き再生されます。

XProtect Web Client 2022 R1

ブックマーク：

- 特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルター適用を使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります：
 - ブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力することや、ブックマークIDをすべて入力することができます。
 - 指定のカメラを選択できます。
 - 事前設定された時間間隔を選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。
- 音声がある場合、ブックマークに追加したビデオシーケンスで音声を聴くことができます。

直接ストリーミング:

- この機能はXProtect Professional+およびXProtect Express+でも利用できます。

アダプティブストリーミング:

- この機能はXProtect Professional+およびXProtect Express+でも利用できます。

要件と注意事項

受信音声の再生条件

あなたのカメラからインカム音声を聞くには、以下が必要です:

- マイクがカメラに付属している。



お使いの監視システムにおけるカメラがマイクを付随している場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーにおける音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを表示します。

- 十分なユーザー権限。



受信音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によって制限されていることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件

ビデオ管理ソフトウェアのプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用するには、以下が必要です。

- スピーカー付きカメラ。
- ご利用のコンピュータ付属のマイク。



インターネットブラウザがあなたのPCマイクにアクセスするのを許可しなくてはなりません。

- 十分なユーザー権限。



ユーザー権限によっては、プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能へのアクセスが制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- 安全なインターネット接続（HTTPS）。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Web Client は、ライブモードでの直接ストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニタリングできます。この機能を使用するには以下が必要です。

- H.264コーデックに対応しているカメラを使用します。
- ダイレクトストリーミング機能をXProtect Web Clientで有効にします（[ページ10の設定](#)を参照）。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

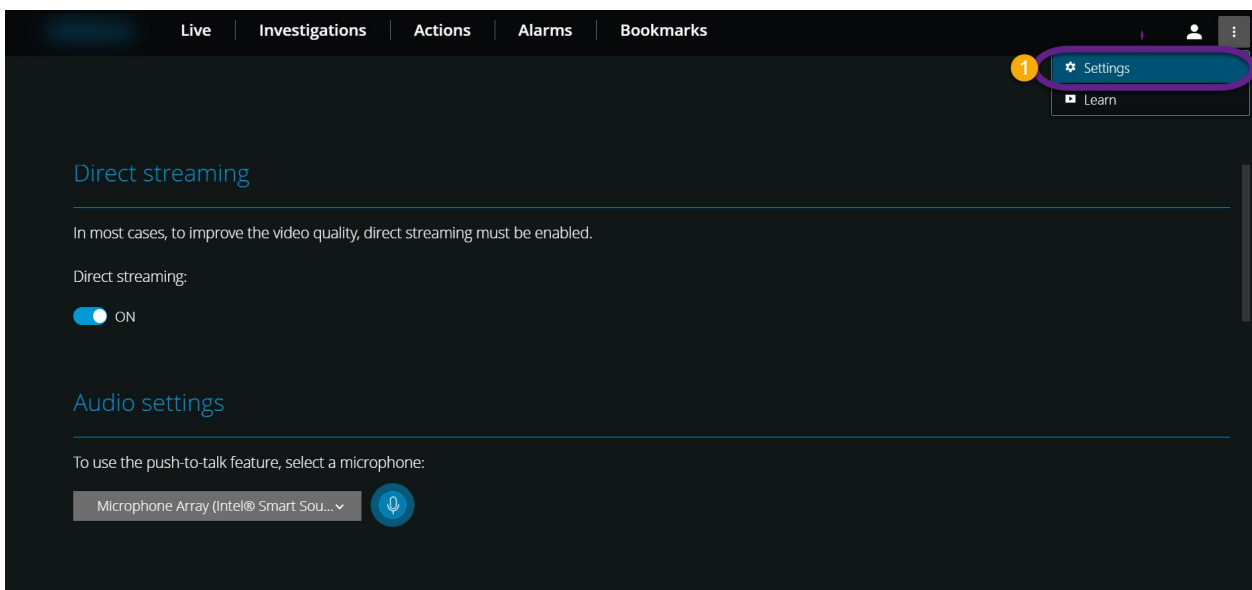
設定

設定

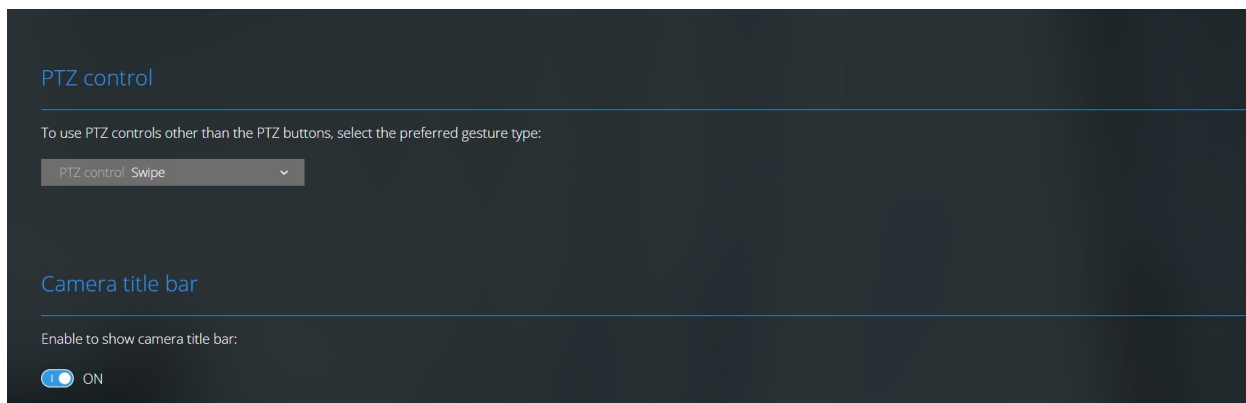


「XProtect Web Clientをできるだけスムーズに実行させるにはどうしたらよいですか？ また、PTZカメラを動かす他の方法が知りたいです。」

上部のメニューバーで、[詳細]メニューをクリックしてから[設定]を選択します①。



- **ダイレクトストリーミング** - ダイレクトストリーミング機能を有効にします。この機能はデフォルトで有効になっています（ページ11のダイレクトストリーミング（説明付き）を参照）。
- **音声設定** - XProtect Web Clientがプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能で使用するマイクを選択します。プッシュ・トゥ・トークアイコンの脈動は、関連する音声デバイスの使用準備が整ったことを意味します。



- **PTZコントロール** - PTZボタンが有効ではない場合は、PTZコントロールに希望するジェスチャーを選択します（[ページ63のPTZコントロール](#)を参照）。
- **カメラタイトルバー** - この設定を有効にすると、カメラのタイトルバーが表示されます。
- **ビデオ診断オーバーレイ** - この設定を有効にすると、選択したビューでビデオストリームのFPS（1秒あたりのフレーム数）、コーデック、解像度、ストリーミングのタイプが表示されます。この機能では、情報がビデオのオーバーレイとして表示されるため、ビデオストリームに関連したXProtect Web Clientの問題や、ローカルパフォーマンス問題のトラブルシューティングの役に立つことがあります。
- **使用状況データ** - この設定を有効にすると、使用状況のデータが提供されます。収集された使用状況データの完全なリストは、「[プライバシーポリシー](#)」というリンクにアクセスして確認できます。

システムを欧州GDPRに準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。データ保護と使用状況データの収集の詳細については、[GDPRプライバシーガイド](#)を参照してください。

ダイレクトストリーミング（説明付き）

XProtect Mobile は、ライブモードでの直接ストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。ダイレクトストリーミングにはトランスコーディングは不要なため、XProtectにかかる負荷の一部が軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、（XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる）XProtectのトランスコーディング設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。ダイレクトストリーミングはまた、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます（トランスコーディングと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能）。

XProtectWebClientでは、ダイレクトストリーミングは単一カメラビューとグリッドビューの両方で使用できます。

ビデオストリームは以下が発生するとダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていません（[ページ8のダイレクトストリーミングの要件](#)を参照）。
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264ではありません。
- ビデオを10秒を超えて再生できません。
- ストリーミングカメラのフレームレートが1秒あたり1フレーム（1 FPS）に設定されています。
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われました。
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用しています。

アダプティブストリーミング（説明付き）

XProtect Mobile は、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています。

アダプティブストリーミングは、カメラの同一ビューで複数のライブビデオストリームを閲覧する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスの復号化能力とパフォーマンスを改善します。

アダプティブストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能によって以下が可能となります。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能な最も低い解像度（要求したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能な最も低い解像度（低下したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能な最も低い解像度を持つストリームが選択されます（3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨）。



ズーム中に要求されるビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

カメラの録画の管理（説明付き）

カメラビデオおよび音声録画の管理には、次の選択肢があります。

- **[ライブ]**タブでは、以下のことができます。
 - 特定のカメラから録画を再生します。
 - ビデオ録画の受信音声と送信音声を再生します（[ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
 - 再生したい録画の時間を指定する。選択したカメラに指定された時間が適用されます。
- **[調査]**タブでは、以下を実行できます。
 - 1台または複数のカメラからの録画を再生または調査します。



調査モード内で、調査を作成せずに録画を再生したい場合、全カメラの録画映像を、現在のビューでいつでも同時再生できます。

- ビデオ録画または調査に録音された受信音声と送信音声を再生します。
- 再生または調査したい録画の時間を指定してください。特定のビューに含まれるすべてのカメラまたは調査に追加されたカメラに指定された時間が適用されます。
- 録画の時間帯を指定し、詳細な開始日および終了日および時間を設定できます。
- 以下のように、保存された調査を管理できます。状態を更新する、カメラを追加または削除して設定を編集する、調査を削除する、またはビデオ録画をエクスポートおよびダウンロードします。



録画をシステムデータベース内に適切な期間、確実に保存するため、ニーズに合わせて保存期間を設定してください（[ページ13の録画および調査の保存期間と保管（説明付き）](#)を参照）。

録画および調査の保存期間と保管（説明付き）

ビデオ録画の保存期間はXProtect Management Clientで使用できる設定で、システムデータベースに録画を保存する期間を決められます。初期設定の保存期間は7日間です。保存期間またはデータベースの最大容量を変更したい場合は、システム管理者に問い合わせてください。保存期間を過ぎると、録画映像は削除されます。

[ライブ]タブと**[調査]**タブでは、保存期間の設定で定義された日数を経過していないビデオ録画を再生できます。

録画が削除されないようにするには、**[調査]**タブで調査を作成する必要があります。調査を作成すると、録画映像がシステムデータベースから削除されていても、その映像を再生、エクスポートおよびダウンロードできます。

XProtect Management Clientでは、システム管理者はモバイルサーバーに調査を保存する期間を定義できる調査保存期間の設定を有効にすることも可能です。初期設定の保存期間は7日間です。この設定を有効にすると、保存期間の前に作成されていた調査はすべて、削除されます。

調査が削除されるのを防ぐため、ビデオのエクスポートを準備し、お使いになっているコンピュータに調査をダウンロードできます。

受信音声の再生(説明付き)

XProtect Web Client次の場合に入力オーディオをサポートします：

- ライブビデオを見ます（[ページ22のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオ録画を再生します（[ページ12のカメラの録画の管理（説明付き）](#)を参照）。

受信音声は以下でも再生できます：

- 調査（[ページ48の調査エリア内のカメラ（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオエクスポート（[ページ57の映像のエクスポートとダウンロードを準備する](#)を参照）。
- アラーム（[ページ60のアラームを表示](#)を参照）。
- アクション（[ページ62のアクションの有効化](#)を参照）。
- ブックマーク（[ページ25のブックマーク（使用）](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）

プッシュ・トゥ・トークとは、PCのマイクからVMSシステムを介して1つ以上のカメラの近くにいる人とコミュニケーションを取ったり、複数の音声装置付きビデオカメラへの音声配信を始めることができる機能です。また、記録した会話を再生モードで再生したり、ビデオエクスポートの準備中に双方向音声記録を音声パッケージに含めたりもできます。

XProtect Web Clientはプッシュ ツートーク (PTT) 機能に対応しています。

- 1つまたは複数のカメラからライブビデオを見ている間（[ページ22のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオ録画に録音された送信音声再生する場合（[ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）
- 調査中およびビデオのエクスポート中。
- アクション（[ページ62のアクションの有効化](#)を参照）。
- アラーム（[ページ60のアラームを表示](#)を参照）。



インターネットブラウザがPCマイクにアクセスすることを許可しなくてはなりません（[ページ8のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能を使用できる場合は、カメラツールバーに**プッシュ・トゥ・トーク**ボタンが現れます。そのアイコンは以下の状況を表しています：

アイコン	説明
 (使用可能)	<p>ライブモードで、プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。プッシュ・トゥ・トークをスタートするにはクリック & ホールド。音声の送信を終了するには、ボタンをリリース。</p>
 (アクティブ)	<p>ライブモードで、現在プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用中であることを示します。ビデオカメラのPC マイクとビデオカメラのスピーカー またはビデオ カメラ がアクティブな状態である。ブルーのパルスサークルはサウンドレベルを示していません。</p>
 (無効)	<p>ライブモードでは以下が示されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能は利用できますが、この機能を利用するために必要な要件を満たしていません（ページ8のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照）。 • カメラスピーカーは無効になっています。 • ハードウェアデバイスが無効です。
	<p>再生モード時に、ビデオ録画の再生中に双方向音声を再生できること、ならびに再生したい音声ソースを選択できることが示されます（ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）を参照）。</p>

ライブモード時のプッシュ・トゥ・トークの割り込みルール

ユーザー権限のレベルに基づいて（システム管理者またはオペレータ）、ライブモードでプッシュ・トゥ・トークセッションに割り込む際のルールが2つあります。

- ユーザー権限が同レベルのユーザーが互いに割り込むことはできません。
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー（オペレータ）がユーザー権限が高いレベルのユーザー（システム管理者）に割り込むことはできません。

デジタルズームと光学ズーム（説明付き）

デジタルズームを使用した場合：

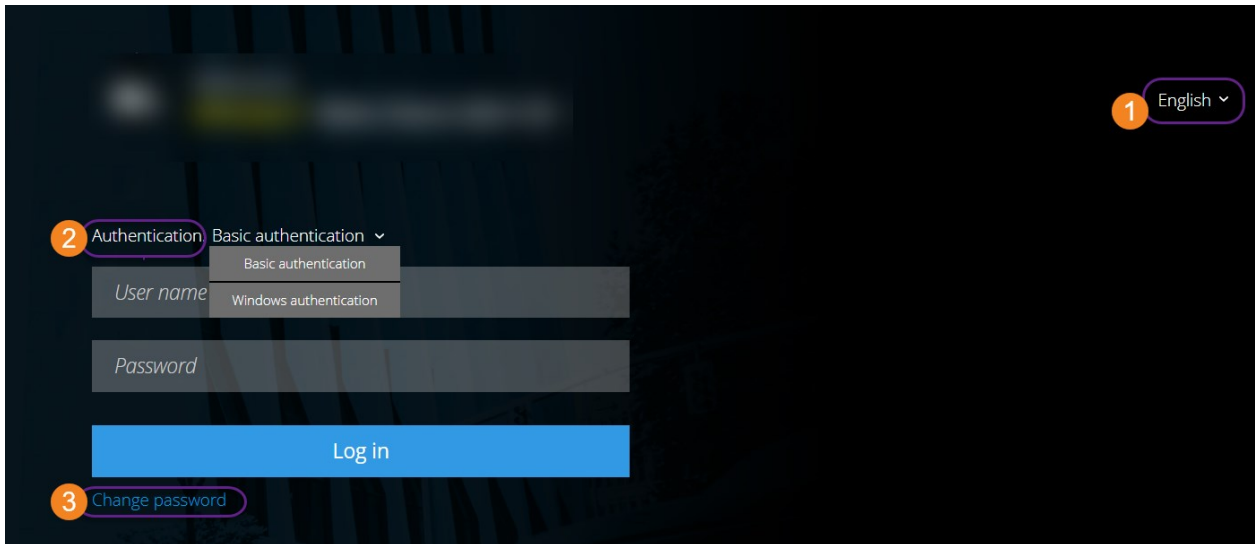
- 画像品質は下がります。ご覧になった画像はピクセル化され、明瞭度が下がります。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画のズームレベルに変化はありません。

光学ズームを使用した場合（カメラが光学ズームに対応している場合のみ）：

- ご覧になる画像品質に変化はありません。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画の最中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

操作

ログイン



初回ログイン



Milestoneでは、ユーザー認証情報を管理する際は安全な接続を使用するようお勧めしています。

1. Webブラウザのアドレスバーに、システム管理者から提供されたインターネットアドレスを入力してください。例：<http://1.2.3.4:8081>または<https://1.2.3.4:8082>。ログインページが表示されます。
2. (オプション) 言語を変更するには、右上コーナーでデフォルトの言語 **1** をクリックしてください。

3. 認証リスト  で、以下の認証方法のいずれかを選択します。

- **基本認証** - このオプションを選択すると、基本ユーザーとしてログインできます。基本ユーザーは、システム管理者によってXProtect Management Clientで定義されます。基本ユーザーとしてログインするには、最初に一時的なパスワードを変更する必要があります。
 1. **ユーザー名とパスワード**フィールドで、システム管理者から提供されたログイン資格情報を入力します。
 2. **ログイン**をクリックします。**パスワードを変更**ダイアログボックスが表示されます。
 3. **続行**をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
 4. **新しいパスワードを設定**ウィザードに表示された指示に従い、新しいパスワードを保存します。
 5. 変更を保存した後、現在のブラウザウィンドウを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtect Web Clientにログインします。



システム管理者によって、次回のログイン時にパスワードを変更することが強制された場合、上記の手順に従ってログインしてください。

- **Windows認証** - このオプションを選択すると、Windowsユーザー認証情報を使ってログインできます
 1. **ドメイン\ユーザー名**および**パスワード**フィールドで、Windowsユーザー認証情報を入力してください。



Windowsユーザー認証情報は、コンピュータまたはドメインに固有です。

2. **ログイン**をクリックします。



XProtect Web Clientにログインしてブラウザタブを5分以上非アクティブのままにすると、セッションがタイムアウトし、アプリケーションから自動的にログアウトされます。

パスワードの変更



ユーザー認証情報を管理できるようにするには、XProtect VMS 2021 R1以降を使用しなくてはなりません。

パスワードを頻繁に変更すると、XProtect VMSシステムのセキュリティが高くなります。基本ユーザーとしてログインすると、いつでも自分のパスワードを変更できます。対照的に、Windows認証方法を選択すると、システム管理者のみがパスワードを変更できるようになります。

パスワードを変更するには、XProtect Web Client のログインページに移動します：

1. 認証リストで、**基本認証**を選択します。
2. **パスワードを変更**リンク **3** をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
3. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
4. 変更を保存した後、現在のブラウザを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtectWebClientにログインします。

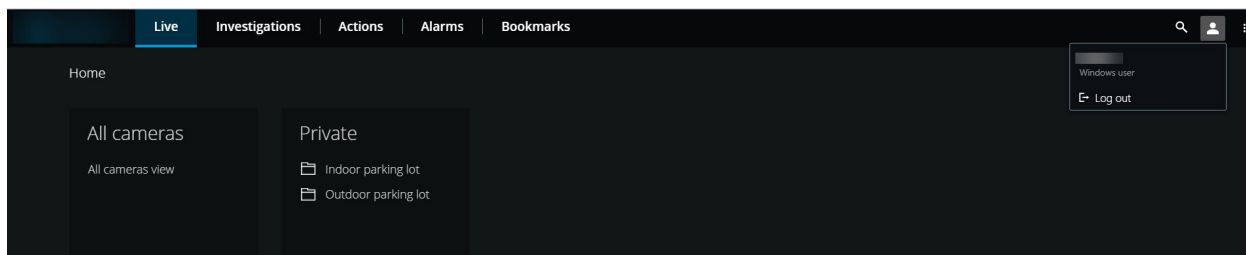


現在のパスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。次回ログインの際にパスワードを変更するようシステム管理者から強制されます。



何度もログインに失敗すると、アカウントはロックアウトされます。ロックアウト時間が切れるのを待つか、システム管理者に連絡できます。管理者はアカウントを再び有効にできるほか、次回ログインの際にパスワードを変更するよう強制する可能性があります。

ホームページの概要




メニュー①内のアイテム	可能なアクション
Milestoneロゴ	クリックして、XProtect Web Clientのホームページに戻る。
ライブ	<ul style="list-style-type: none"> • クリックしてビューストラクチャー内の最後の位置に戻ります。 • ライブビデオを見ます (ページ22のライブビデオを見る (説明付き) を参照)。

メニュー①内のアイテム	可能なアクション
	<ul style="list-style-type: none"> 単一のカメラからの録画を再生します（ページ39の1台のカメラから録画を再生するを参照）。
調査	<p>複数のカメラからの録画を再生します（ページ44の複数のカメラからの録画映像（説明付き）とページ57の映像のエキスポートとダウンロードを準備するを参照）。</p>
アクション	<p>ドアを開けるなどのアクションを有効にします（ページ62のアクションの有効化を参照）。</p>
アラーム	<p>すべてのカメラからのアラームを表示します（ページ60のアラームを表示を参照）。</p>
ブックマーク	<p>ブックマークのリストを表示します（ページ25のブックマーク（使用）を参照）。</p>
検索 	<p>フォルダー、ビュー、カメラを検索します（ページ20のカメラの検索を参照）。</p>
ユーザーメニュー	<p>XProtect Web Clientを終了する場合は、をクリックしてから[ログアウト]を選択します。</p>
[詳細]メニュー 	<p>[詳細]メニューをクリックして、以下を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [設定]を選択して、XProtect Web Clientをカスタマイズします（ページ10の設定を参照）。 [チュートリアル]を選択して、XProtect Web Clientの詳細を読みます。

カメラの検索

ホームページにおいて：

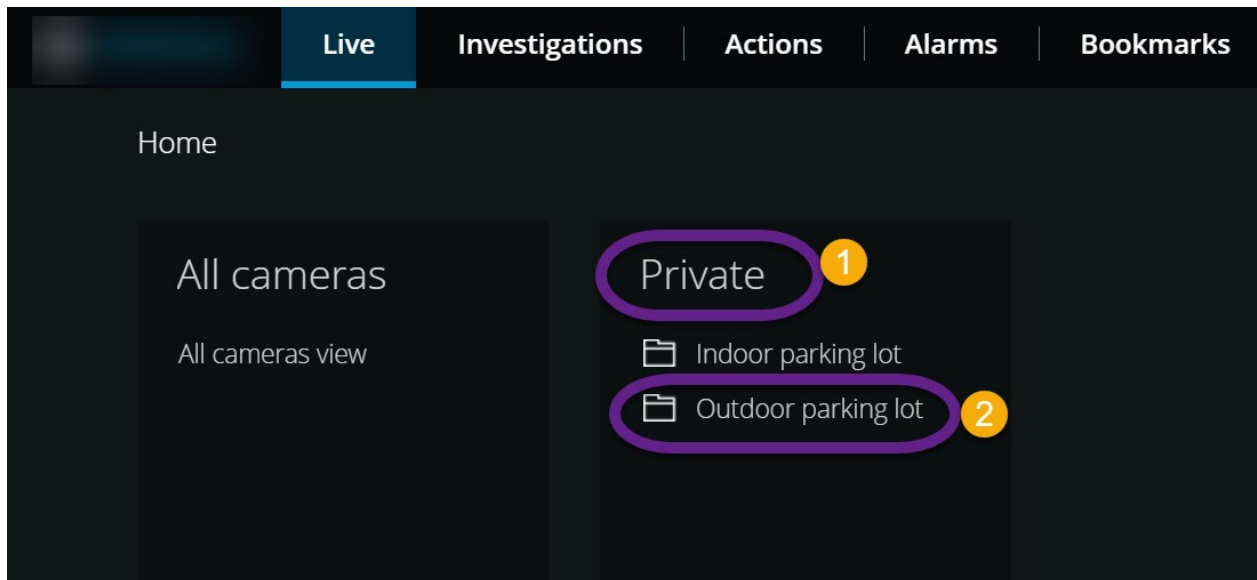
1. 上部のメニューバーの右上にある  をクリックします。
2. フォルダー、ビュー、またはカメラの名前を入力します。テキストを入力すると同時に結果が表示されます。
3. ライブビデオの他のオプションについてはカメラをクリックしてください（[ページ22のライブビデオを見る](#)（説明付き）を参照）。



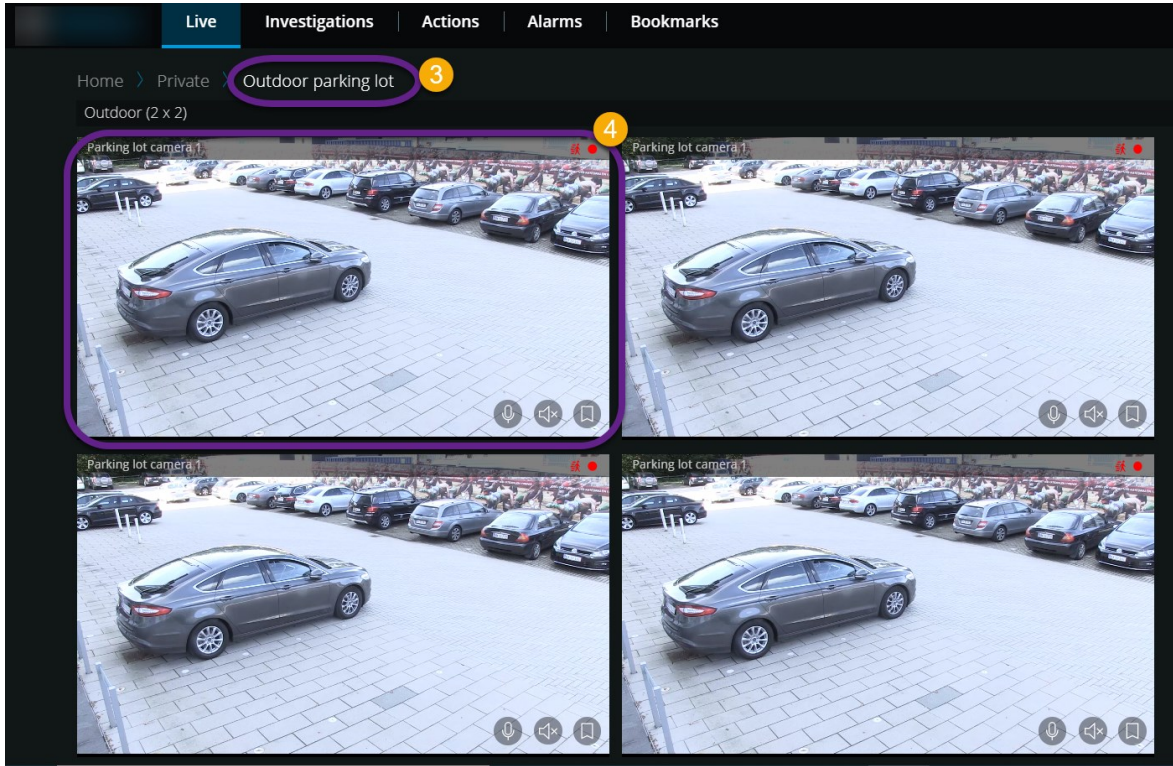
お使いのすべてのPTZカメラを検索するには、「ptz」と入力します。全てのマイク付きのカメラを探すには「audio」と入力します。スピーカー付きのカメラを探すには「ptt」と入力します。

カメラに移動する

ホームページにおいて：



1. フォルダー^①で、サブフォルダー^②をクリックして自分のビューを表示します。
2. ビュー^③で、そのビューにおけるすべてのカメラからのライブビデオを見ます。どのカメラがマイクとスピーカー付きかを見る。



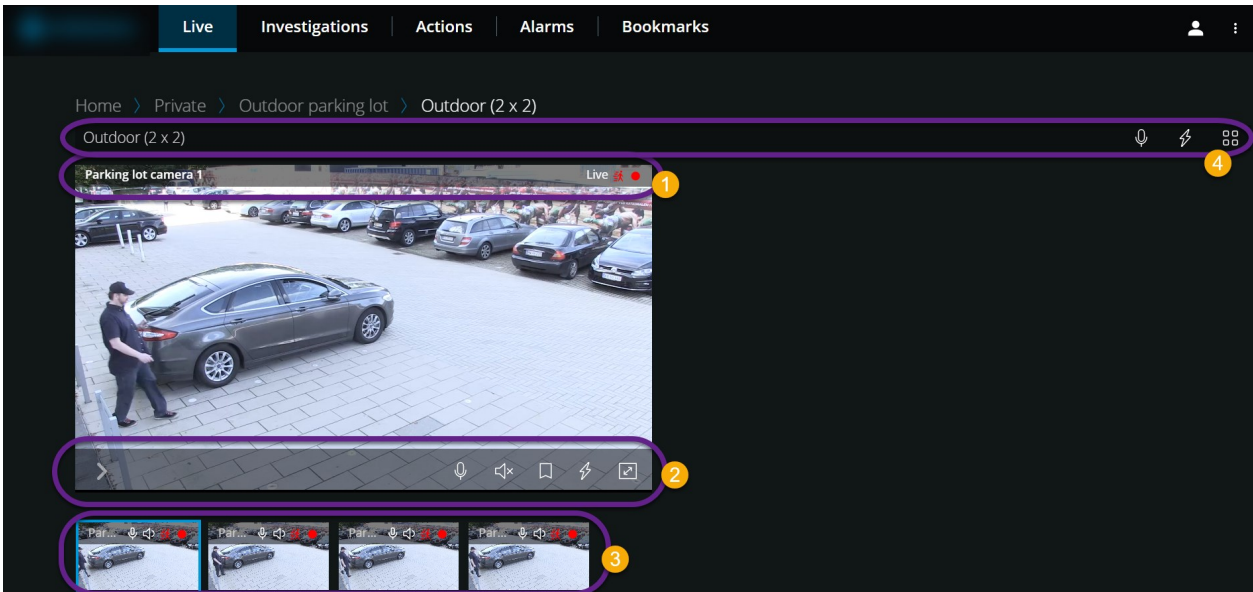
3. カメラ^④をクリックして、カメラから録画を再生します（[ページ39の1台のカメラから録画を再生する](#)を参照）。

ライブビデオを見る（説明付き）




「ライブビデオで可能なアクションは？ また、ビデオの画面右上にある赤と緑の円は何を意味するのか？」

ライブタブでカメラを見つけてクリックします。




カメラのタイトルバー^①で：

- カメラの名前を確認します。
- 閲覧中のビデオがライブモードか再生モードかを確認します。
- カメラが動きを検知しているか、ビデオを録画しているか、その両方なのかを確認します。

シンボル	動きが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
	⊗	⊗
	☑	⊗
	⊗	☑
	☑	☑




カメラツールバー^②で：

アイテム	可能なアクション
	ライブビデオを一旦停止して、録画されたビデオを再生します（ ページ39の1台のカメラから録画を再生する を参照）。
	PTZ カメラを動かしズームする (PTZ カメラに限る)。
	PTZ カメラ をXProtect Smart Clientで指定したPTZプリセットポジションに動かす (プリセットされたPTZ カメラのみ)
	受信音声を聞くのを開始するか停止します（ ページ8の受信音声の再生条件 を参照）。
	1つのカメラへのプッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリックしたままホールドします。音声の送信を終了するにはアイコンをリリースします（ ページ8のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件 を参照）。
	ライブビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（ ページ27のブックマークを追加または編集する を参照）。
	カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
	全画面にします。Escを再度クリックまたは押して、全画面を終了します。

サムネイルストリップ  にて：

- ビューのすべてのカメラからのライブビデオを確認します。
- どのカメラにマイクが付属しているかを確認します。
- どのカメラにスピーカーが付いているかを確認します。
- 他のカメラにスイッチするには、そのカメラをクリックします。
- サムネイルストリップをリサイズするには、マウスをサムネイルストリップの上まで持っていき、ストリップをクリックし、ドラッグして上げ下げします。

ビューのツールバー^④上：

- ビュー内のすべての音声装置付きカメラに対して音声のブロードキャストを開始するには、をクリックしたままホールドします。
- をクリックして、ビュー内の全カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
- ビューで、すべてのカメラからのより大きなライブビデオを見るには  をクリックします。

ブックマーク（使用）

この機能は、特定のXProtect VMS製品でのみ使用できます。すべての機能に関するリストをご確認ください。リストは、Milestoneウェブサイト（<https://www.milestonesys.com/solutions/platform/product-index/>）の製品概要ページで提供されています。

ブックマークを使用して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけることができます。この機能は、ライブモード（ページ22のライブビデオを見る（説明付き）を参照）と再生モード（ページ39の1台のカメラから録画を再生するを参照）の両方で使用できます。

ブックマーク（説明付き）

ブックマークは、基本的に小さなビデオクリップです。インシデントにブックマークを付けると、システムによって自動的にIDが割り当てられ、ブックマークを作成したユーザーが追加されます。

遅延があっても確実にインシデントが記録されるように、通常、ブックマークビデオクリップには、インシデントにブックマークを付けた時の数秒前から数秒後まで（時間間隔はシステム管理者によって指定されます）のビデオが含まれます。



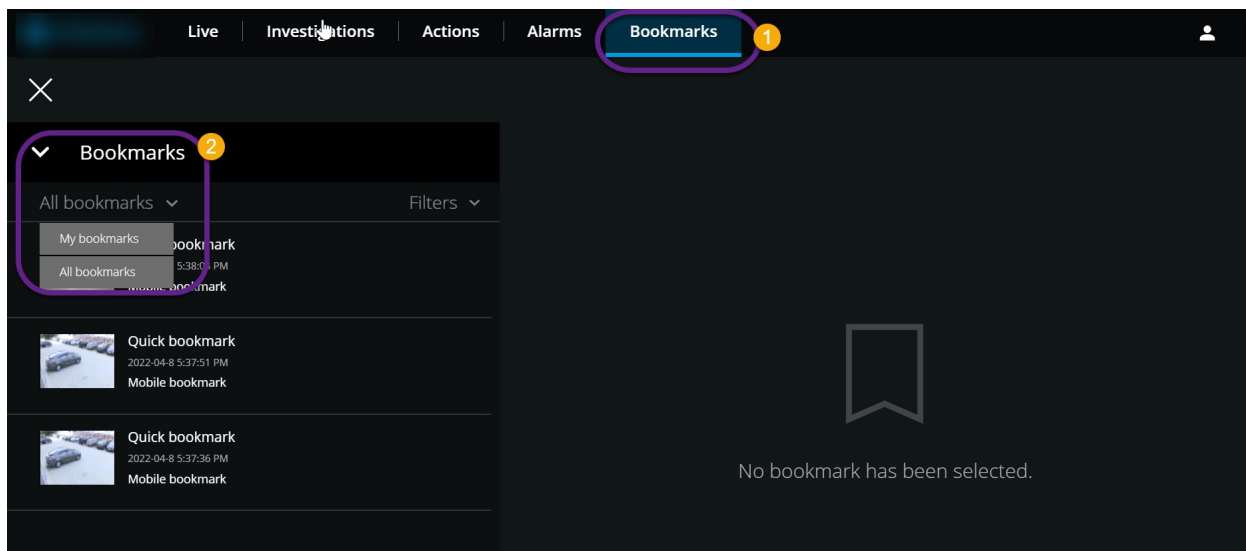
ユーザー権限によっては、制限により特定のカメラからブックマークを追加できない場合があります。ブックマークを追加できない場合でも、ブックマークを表示できる場合があります。その逆も同様です。

ブックマークの詳細を表示するか、ブックマークのビデオクリップを再生する

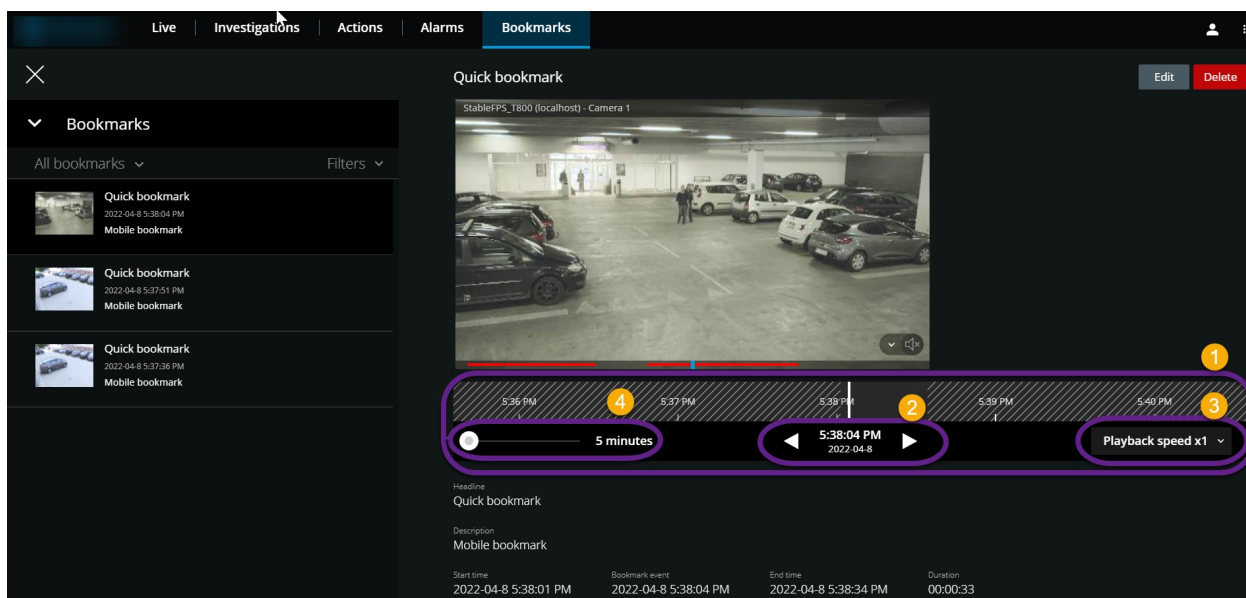
XProtect Web Clientでは、詳細なブックマークを作成して、作成後にブックマークを見つけやすくすることができます。ブックマークに追加したビデオクリップでは音声も聴くことができます。

追加したブックマークの詳細を表示し、ブックマークのビデオクリップを再生するには：

1. ホームページで、**ブックマーク**^①をクリックしてブックマークリストを開きます。
2. **ブックマークリスト**^②で、**すべてのブックマーク**を選択してすべてのユーザーが作成したブックマークの完全なリストを開くか、**マイブックマーク**を選択して自分で作成したブックマークのみを表示するブックマークのリストを開きます。



3. 表示したいブックマークに移動し、それをクリックします。ブックマークの詳細が表示されたペインが表示されます。
4. オプション。ブックマークのリストが長すぎる場合は、さらに読み込むをクリックして、手順3を繰り返します。
5. タイムラインバー^①で、▶️をクリックしてブックマークビデオクリップを再生するか、②または⏪️をクリックしてビデオクリップを逆再生します。右下隅^③の再生速度リストから、ビデオの再生速度を選択します。左下隅^④で、スライダーをドラッグして、ブックマークビデオクリップの特定の継続時間を定義できます。



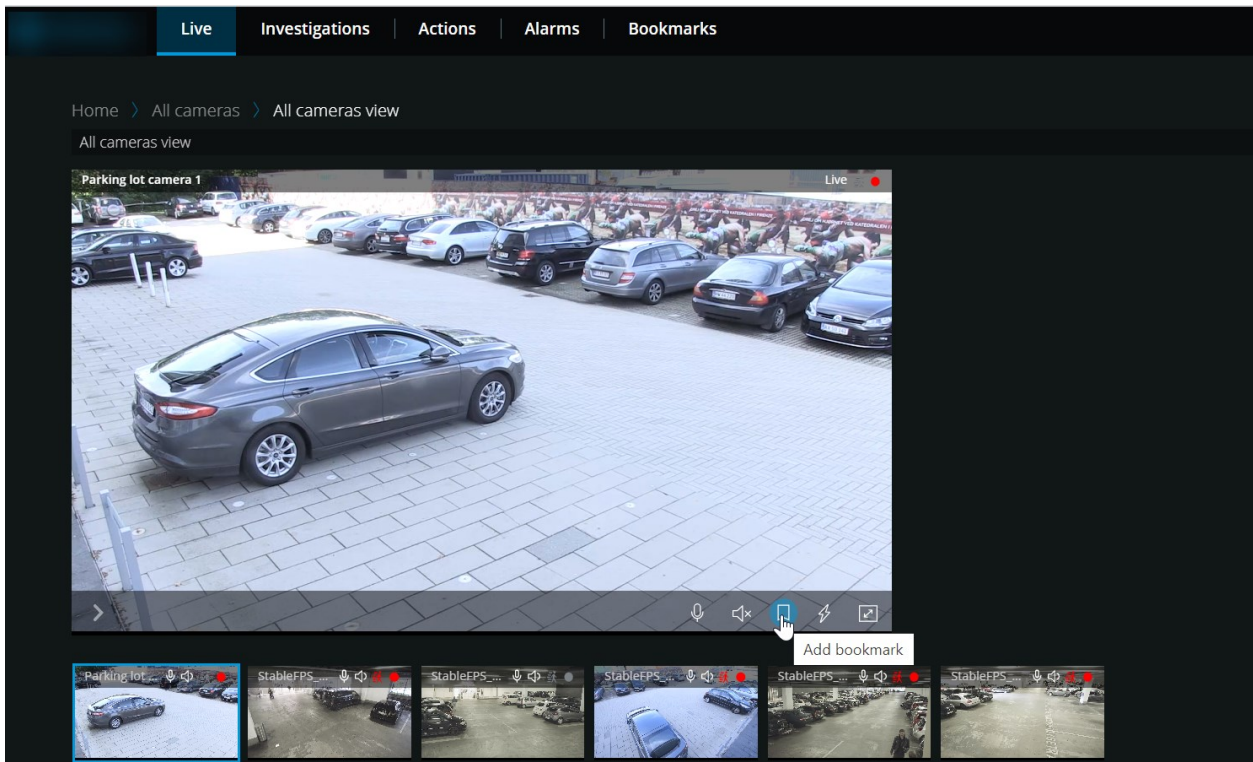
6. 詳細なブックマーク情報を表示します。


名前	説明
ヘッドライン	最大50文字を含む必要があるブックマークのヘッドライン。このフィールドは必須です。
説明	ブックマークの追加の説明。このフィールドは任意です。
開始時刻	ブックマーククリップの推奨開始時刻は、ブックマークイベントの開始時刻の数秒前です。開始時刻は、システム管理者が指定します。
ブックマークイベント	ブックマークイベントがトリガーされた時刻を示すビデオクリップの時刻。
終了時刻	ブックマーククリップの推奨終了時刻は、ブックマークイベントの時刻から数秒後です。終了時刻は、システム管理者が指定します。
継続時間	ブックマークビデオクリップの継続時間。
カメラ名	ブックマークビデオクリップをストリーミングするカメラの名前。
ブックマークID	ブックマークに自動的に割り当てられる一意のID番号。
追加した人物	ブックマークを作成したユーザー。

ブックマークを追加または編集する

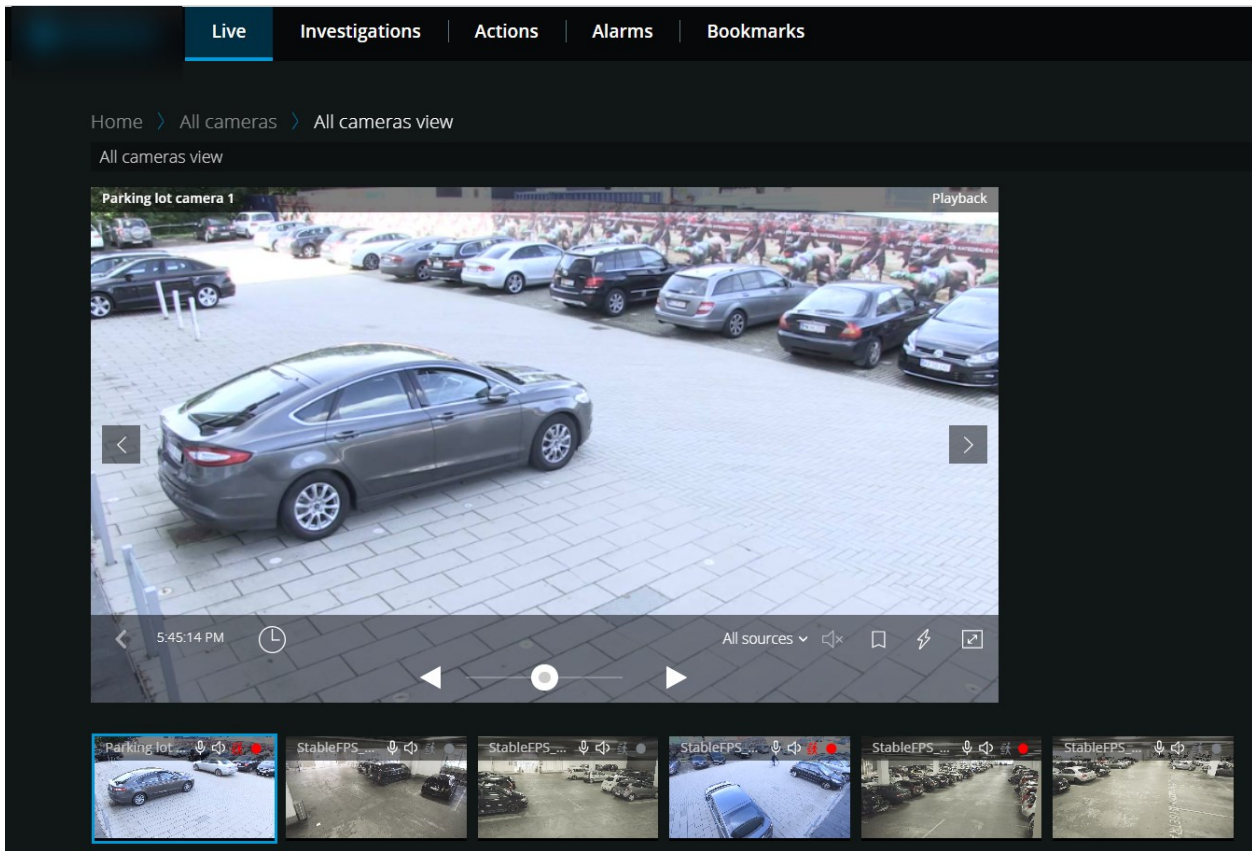
ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加できます。



ライブモードでビデオにブックマークを追加する手順：

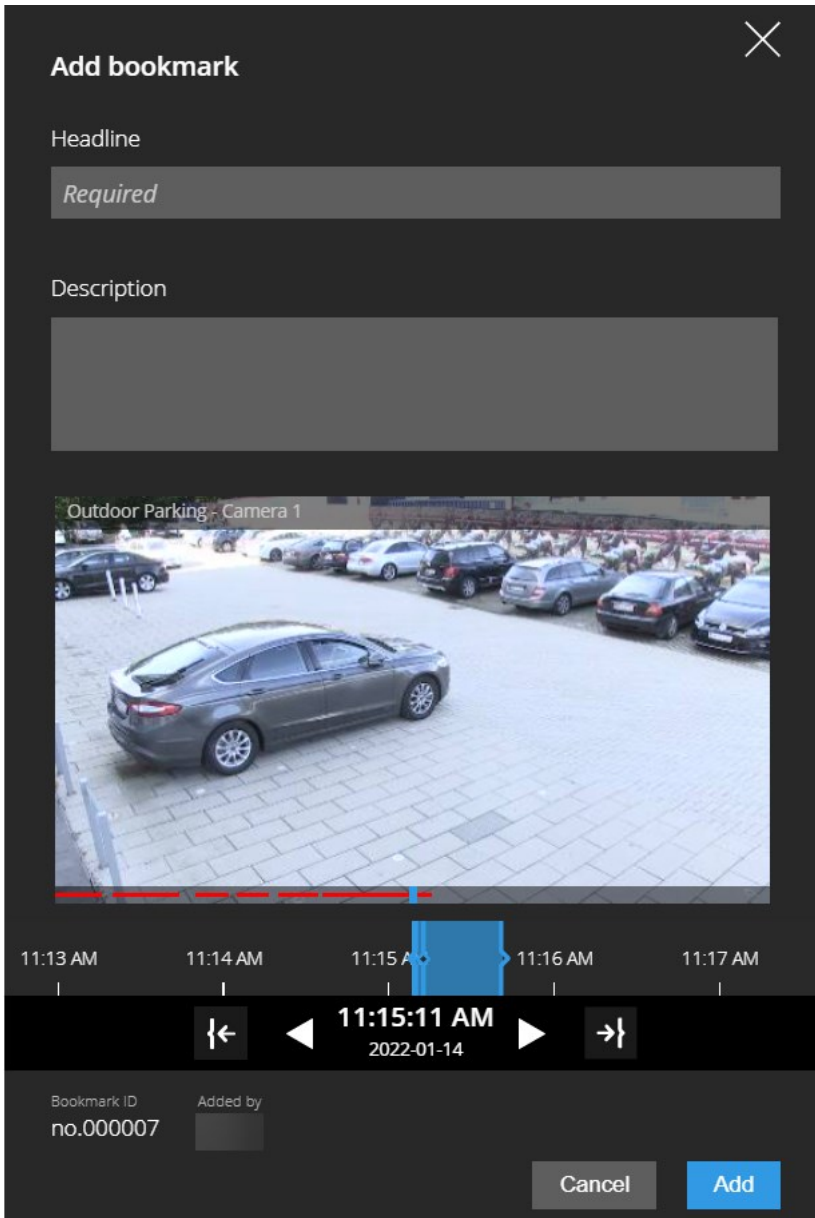


1. ホームページで、カメラビューを選択してから、ビューで必要なカメラを選択します。
2. クリック  ブックマークは、システムによって自動的に割り当てられたクイックブックマークという名前
で追加されます。

再生モードでビデオにブックマークを追加する手順：



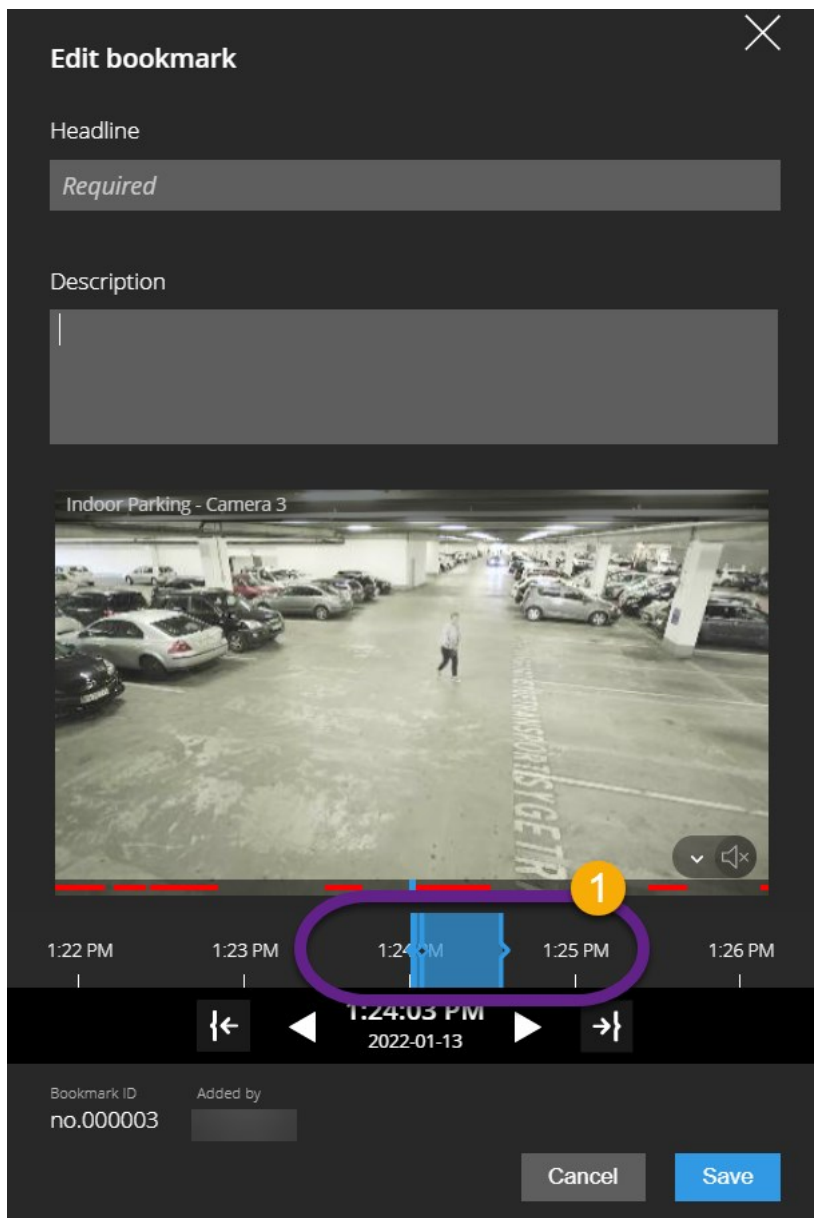
1. ホームページで、カメラビューを選択してから、ビューに必要なカメラを選択します。
2. 再生モードに切り替えるには、 をクリックします。
3. 再生コントロールバーで、 をクリックします。ブックマークの追加ウィンドウが表示されます。



4. ヘッドラインフィールドに、ブックマークの名前を入力します。
5. オプション。説明フィールドで、インシデントについて説明します。
6. オプション。ブックマークイベントの時刻とビデオクリップの開始時刻／終了時刻はシステム管理者によって指定されますが、これらの設定は調整できます。時刻を調整するには、タイムラインバーのインジケータをドラッグします。
7. [追加] をクリックします。

ブックマークを編集する手順

1. ホームページで、**ブックマーク**をクリックしてブックマークリストを開きます。
2. **ブックマーク**リストで、**すべてのブックマーク**を選択してすべてのユーザーが作成したブックマークの完全なリストを開くか、**マイブックマーク**を選択して自分で作成したブックマークのみを表示するブックマークのリストを開きます。
3. 編集したいブックマークに移動し、それをクリックします。ブックマークの詳細が表示されたペインが表示されます。
4. 右上隅で、**編集**をクリックします。**ブックマークの編集**ウィンドウが表示されます。



- [**ヘッドライン**] フィールドまたは [**説明**] フィールドに変更を入力するか、タイムラインバーでインジケーター **1** をドラッグしてブックマーククリップの時間を調整します。
- 保存** をクリックします。

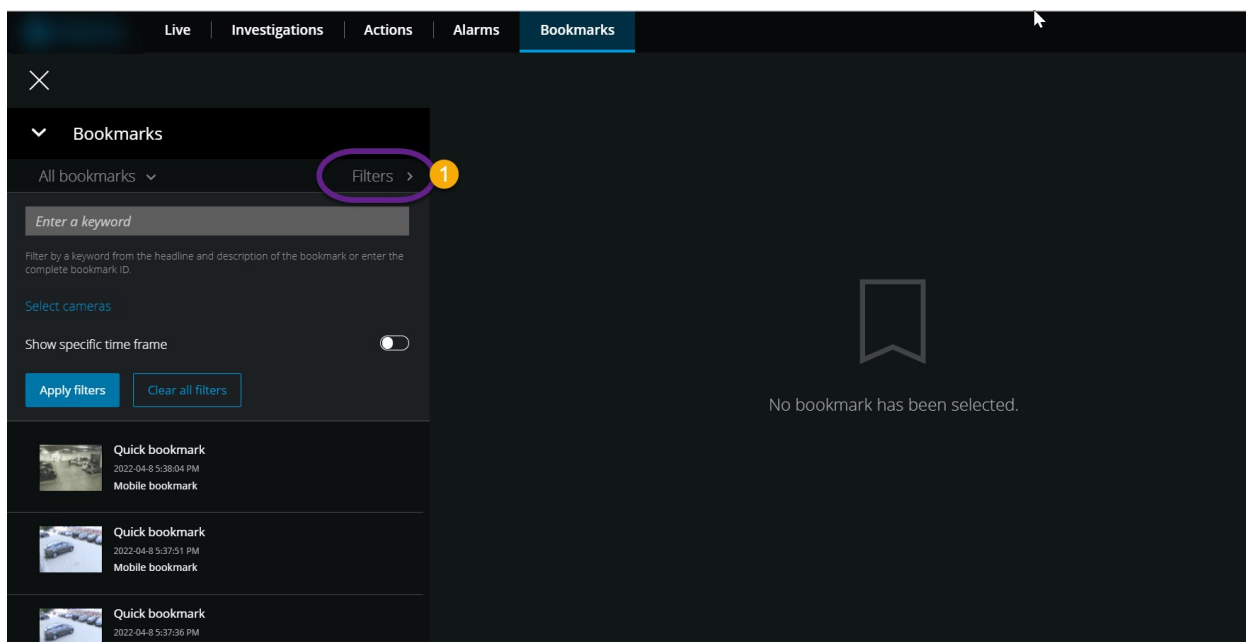
ブックマークを削除

ユーザー権限に応じて、自分自身または他のユーザーが作成したブックマークを削除できます。ブックマークを削除すると、データベースから削除され、アクセスできなくなります。

ブックマークを削除する手順：

- ホームページ** で、**ブックマーク** をクリックしてブックマークリストを開きます。
- ブックマークリスト** で、**すべてのブックマーク** を選択してすべてのユーザーが作成したブックマークの完全なリストを開くか、**マイブックマーク** を選択して自分で作成したブックマークのみを表示するブックマークのリストを開きます。
- 編集したいブックマークに移動し、それをクリックします。ブックマークの詳細が表示されたペインが表示されます。
- 右上隅で、**削除** をクリックします。
- 確認メッセージで、**削除** をクリックします。

ブックマークをフィルタリングする



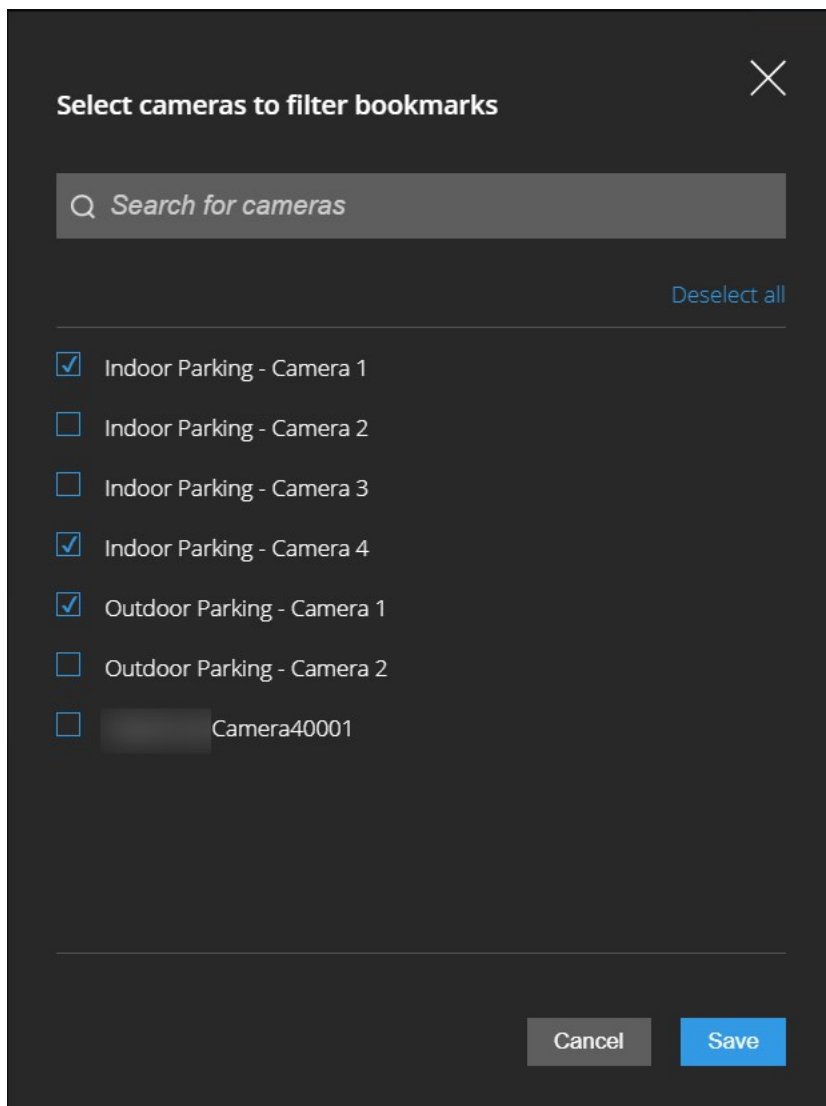
特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルター適用 **1** を使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります：

- ブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力することや、ブックマークIDをすべて入力することができます。
- 指定のカメラを選択できます。
- 事前設定された時間間隔を選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。

キーワードでブックマークにフィルターを適用する手順

1. [ブックマーク] タブで、[フィルター] リストを展開します。
2. [キーワードを入力] フィールドにブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力するか、ブックマークIDをすべて入力します。
3. フィルターを適用するには、[フィルターを適用] をクリックします。
4. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、[すべてのフィルターをクリア] をクリックします。

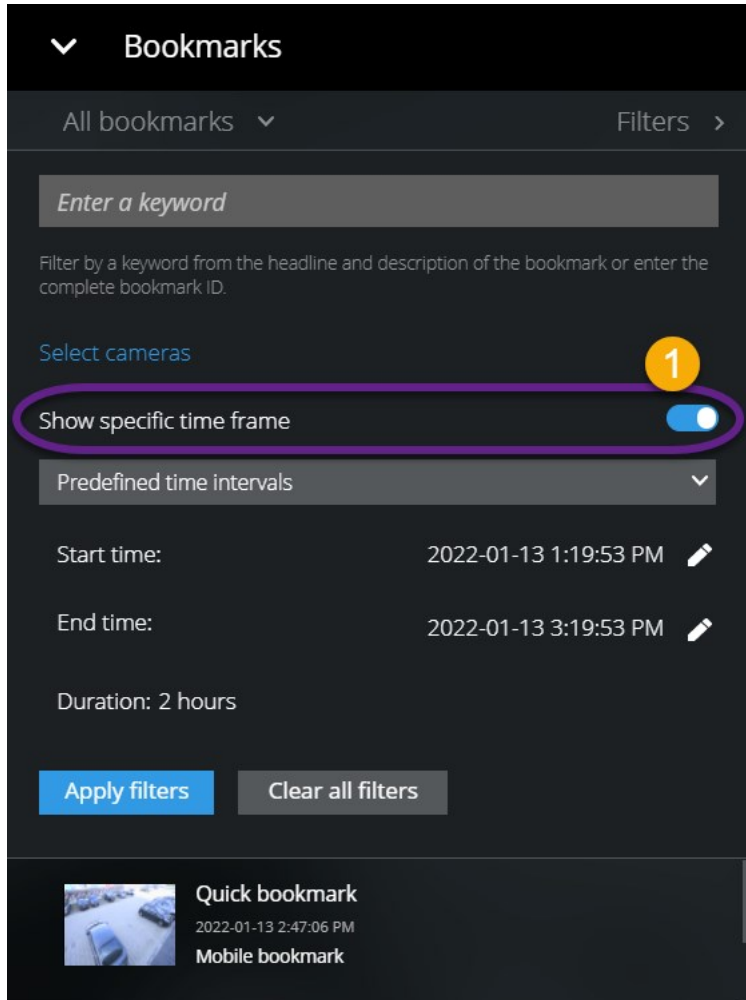
選択したカメラでブックマークにフィルターを適用する手順



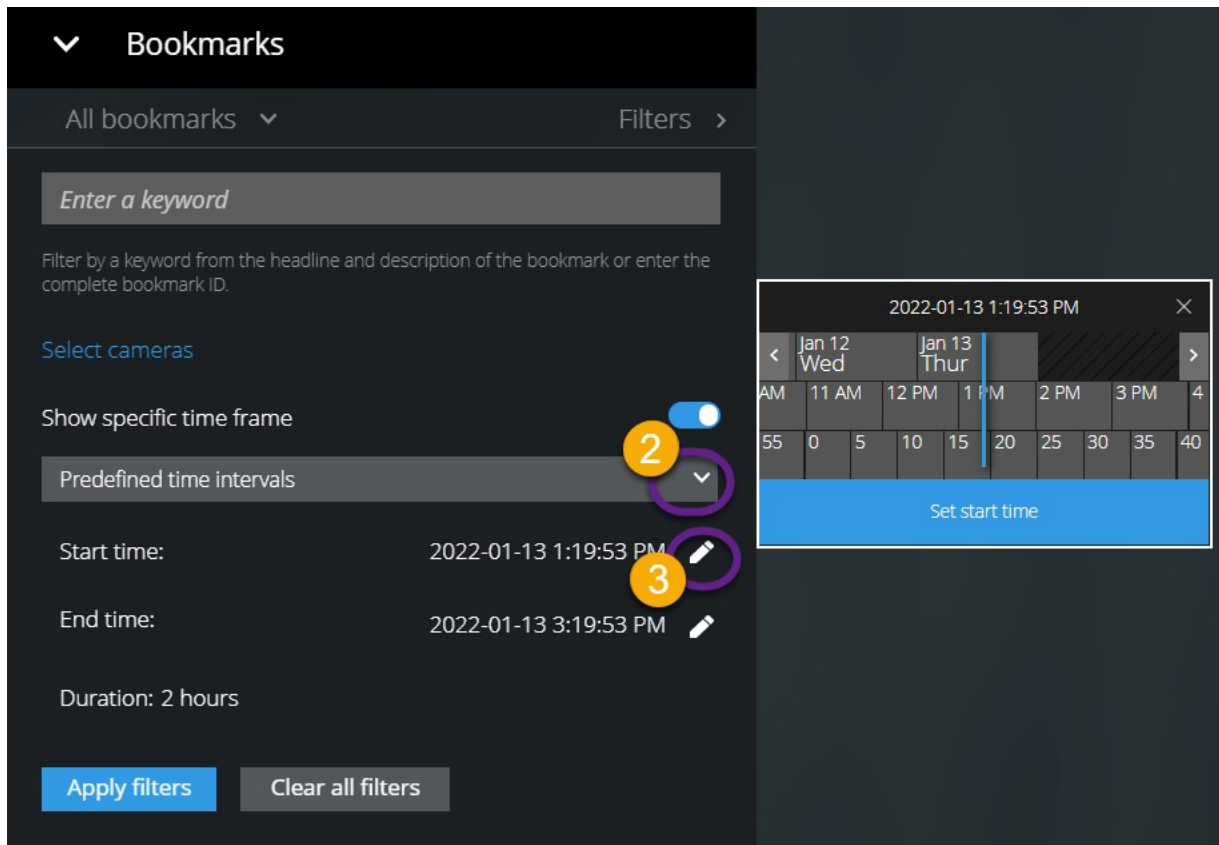
1. [ブックマーク] タブで、[フィルター] リストを展開します。
2. [カメラの選択] を選択します。[ブックマークにフィルターを適用するためカメラを選択] ウィンドウが開き、利用できるすべてのカメラのリストが表示されます。
3. オプション。速やかに指定のカメラを見つけるには、[カメラの検索] オプションを使用します。
4. カメラリストから、フィルターとして適用するカメラを選択します。
5. オプション。選択を元に戻すには、各カメラのチェックボックスのチェックを外すか、[すべて選択解除] を選択します。
6. 選択内容を保存するには、[保存] をクリックします。
7. 選択したカメラをフィルターとして適用するには、[フィルターを適用] をクリックします。
8. オプション。フィルターの選択を解除するには、[すべてのフィルターをクリア] をクリックします。


事前に設定したまたはカスタマイズした時間間隔でブックマークにフィルターを適用する手順

事前に設定したまたはカスタマイズした時間間隔（ブックマークに追加したビデオシーケンスの開始時刻と終了時刻の間の時間間隔）が含まれる指定の時間枠を使用してブックマークのリストにフィルターを適用できます。時間枠のデフォルトの継続時間は**2時間**に設定されています。

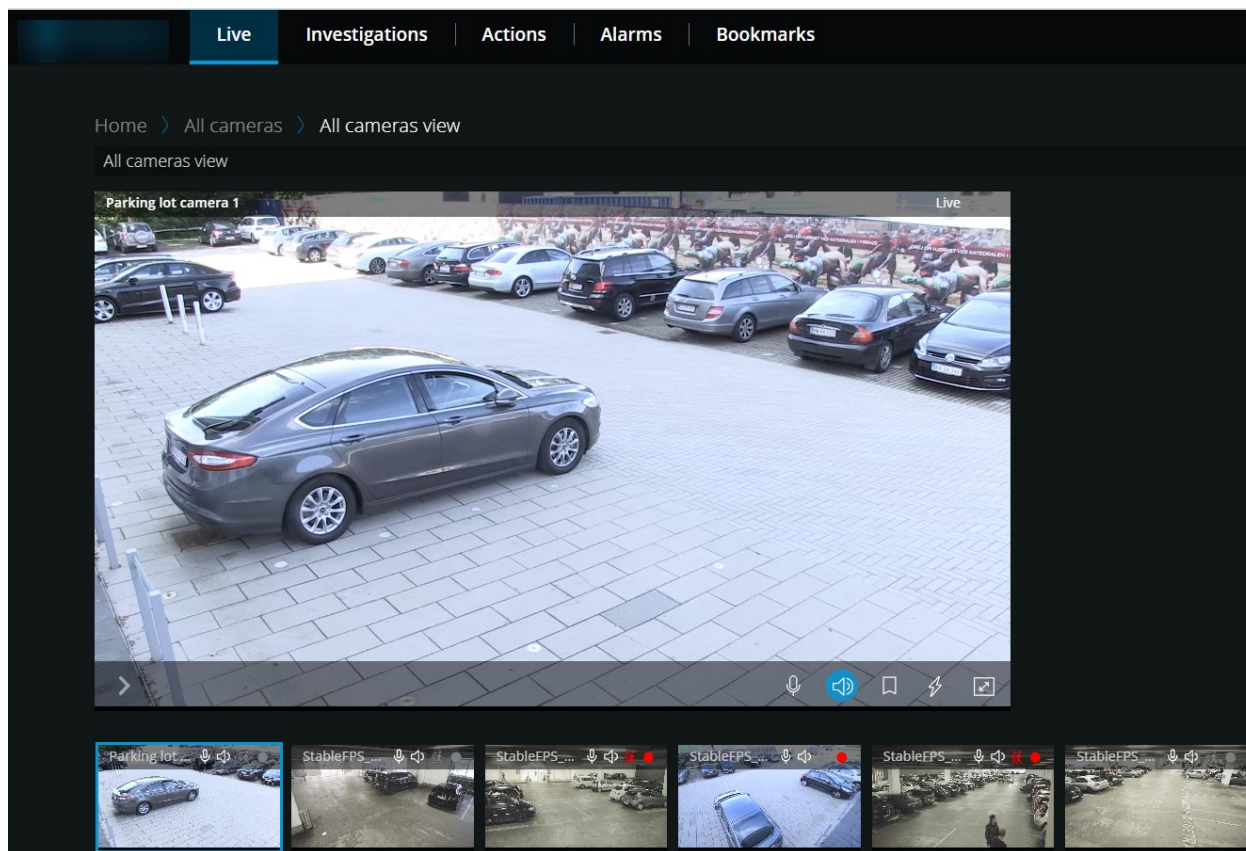


1. [ブックマーク] タブで、[フィルター] リストを展開します。
2. [指定時間枠を表示] 設定 **①** を有効にします。
3. [事前設定された時間間隔 **②**] のリストを展開し、次のいずれかのオプションを1つ選択します：
 - 直近2時間
 - 直近12時間
 - 直近6時間
 - 直近24時間
 - 昨日
 - 直近7日間




4. オプション。ブックマークに追加したビデオシーケンスの開始時刻と終了時刻の間の時間間隔をカスタマイズするには、 ³ を選択し、タイムピッカーを開き、希望の開始時刻と終了時刻を設定します。
5. フィルターを適用するには、[フィルターを適用] をクリックします。
6. オプション。フィルターの選択を解除するには、[すべてのフィルターをクリア] をクリックします。


ライブモードで受信音声を再生



[ライブ]タブで：

1. マイクが付随したカメラを見つけてクリックします。
2. カメラ ツールバーで  をクリックして、音声の再生を開始します。

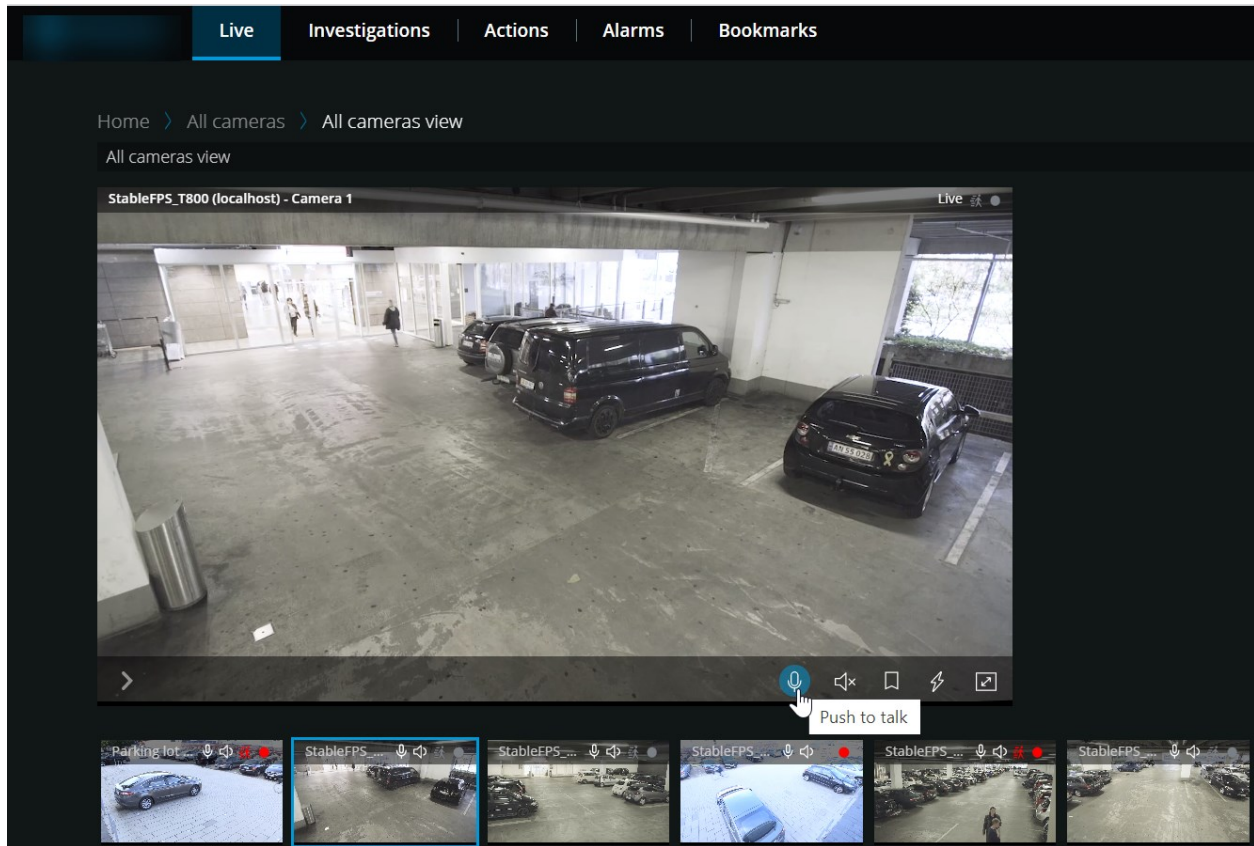
デフォルトでは、音声は消音になります。

カメラ付きマイクの場合、サムネネイルストリップ上の全てのカメラは  ツールバー上に音声アイコンを持っています。






カメラに付随のマイクから入ってくるライブ音声は、もしこれらのカメラからのライブビデオストリームが無い場合でも再生可能です。

1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用

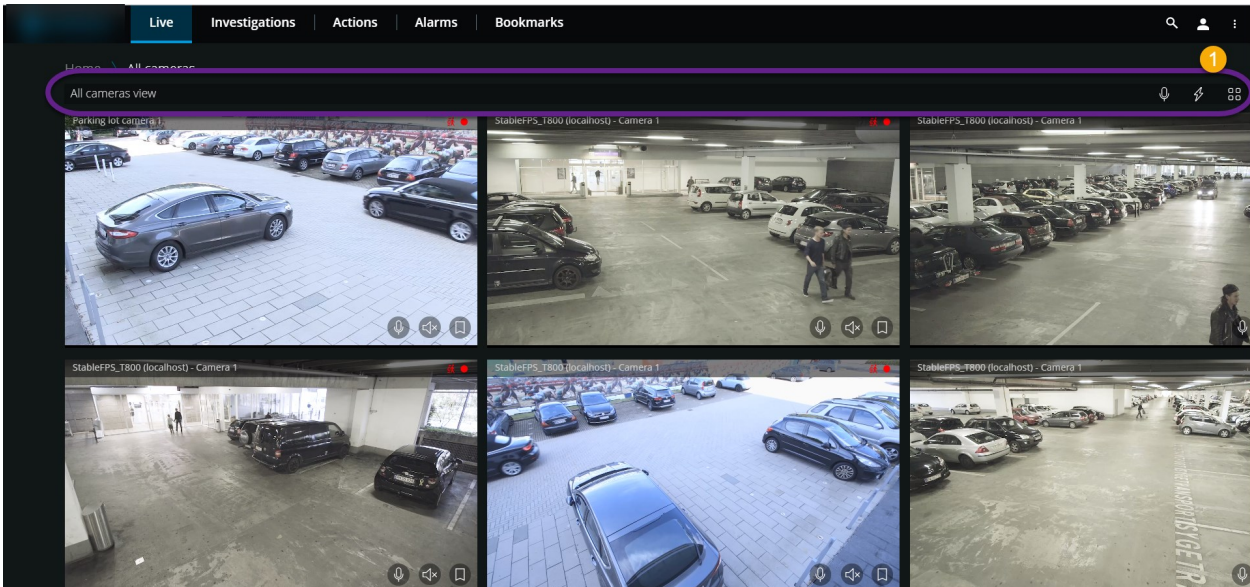


[ライブ]タブで：



1. スピーカー付属のカメラを探してクリックします。
2. カメラ ツールバーで  を長押しして、プッシュ ツー トークの使用を開始します。
3. 音声の送信を終了したい時は  をリリースします。

カメラがスピーカー付属の場合、サムネイルストリップ上の全てのカメラは  ツールバー上にプッシュ・トゥ・トーク (PTT) アイコンがあります。

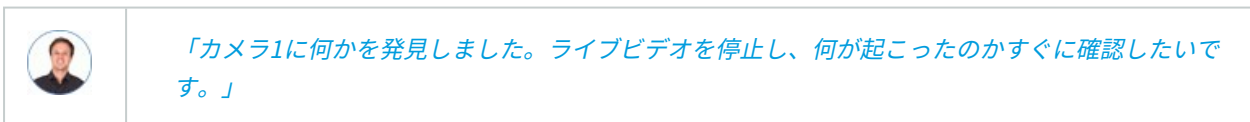
ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する



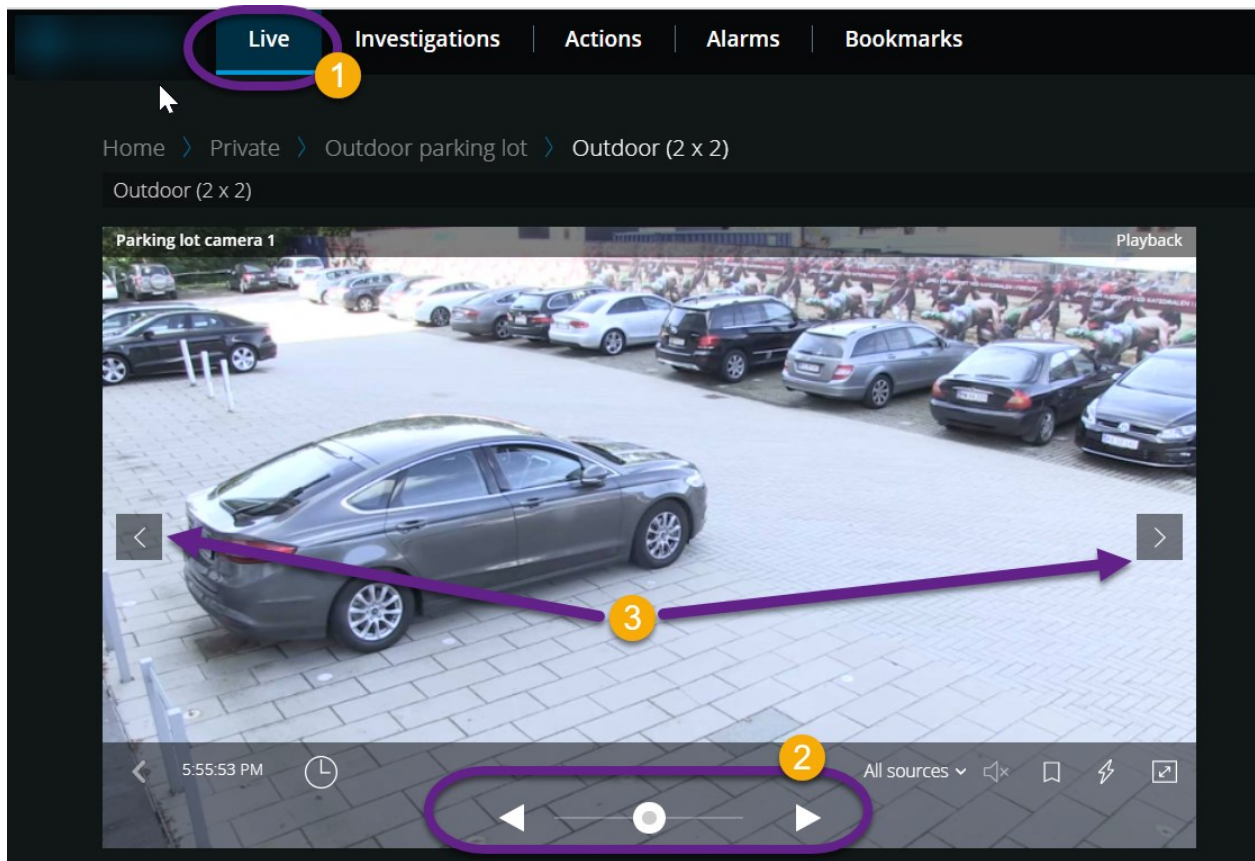
[ライブ]タブで：

1. ビューを選択します。
2. ビュー内のスピーカー付きカメラすべてに音声を配信するには、ビューのツールバー①上で、 をクリックしたままホールドします。
3. 音声の配信を終了するときに  をリリースします。

1台のカメラから録画を再生する



1台のカメラからの録画は、[ライブ]タブと[調査]タブの両方で再生できます。



ライブタブで①：

1. カメラを見つけ、クリックします。
2. カメラツールバーで、[▶]をクリックし、ライブビデオを停止します。
再生コントロールバーが現れます。

再生コントロールバー②：







アイテム	可能なアクション
	左にドラッグして巻戻するか、右にドラッグして早送りする。デフォルトでは、シャトルが真ん中に位置している時は、再生スピードは通常です。
	ビデオを再生または逆再生する。

アイテム	可能なアクション
	前または次の画像を見る  。
	クリックしてタイムピッカーを開き、過去の日付および時刻を指定し、ビデオを再生する。
	録画がいつ行われたのかを確認する。
	ビデオ録画に録音された音声の再生を開始または停止します（ ページ8の受信音声の再生条件 を参照）。
	ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します（ ページ8のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件 、 ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き） を参照）。
	録画されたビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（ ページ27のブックマークを追加または編集する を参照）。



[調査]タブで、以下を実行します。

1台のカメラからの録画を再生したいが、選択したグループに複数台のカメラがある場合、必要のないカメラを削除することができます。これを行うには、[ページ48の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます](#)。の手順に従います。

1台のカメラからの録画を再生するには：

1. カメラタイムラインバーで、再生するビデオの時間を指定してください。
2. ビデオを逆再生または再生するには、 または  をクリックしてください。
3. オプション。通常のスPEEDでビデオ録画を再生する際に、 をクリックして受信音声の再生を開始し、 をクリックして停止します(マイク付きカメラのみ)。
4. オプション。音声の再生は  をタップして開始し、 をタップして停止します(マイクとスピーカー付きカメラのみ)。ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します（[ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。




ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc**キーを押すか、または右上の  をクリックします。

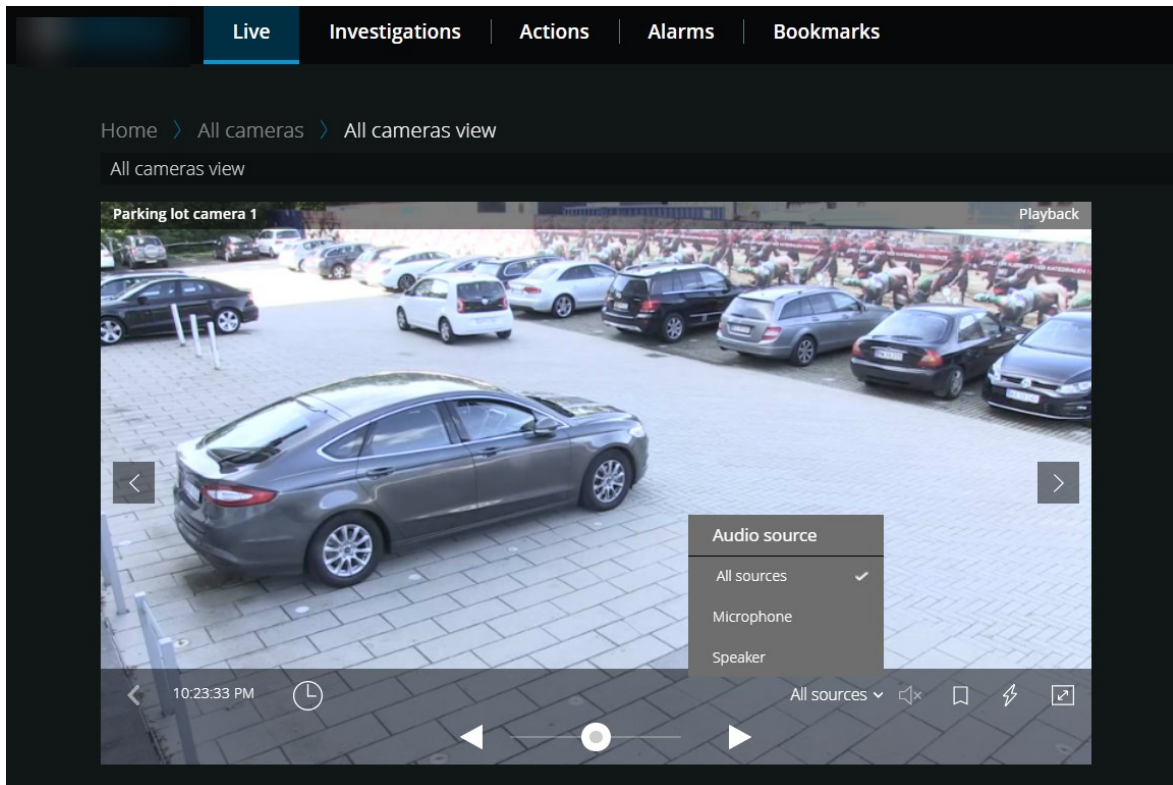
ビデオ録画における音声の再生（説明付き）


XProtect Web Clientでは以下が可能です：

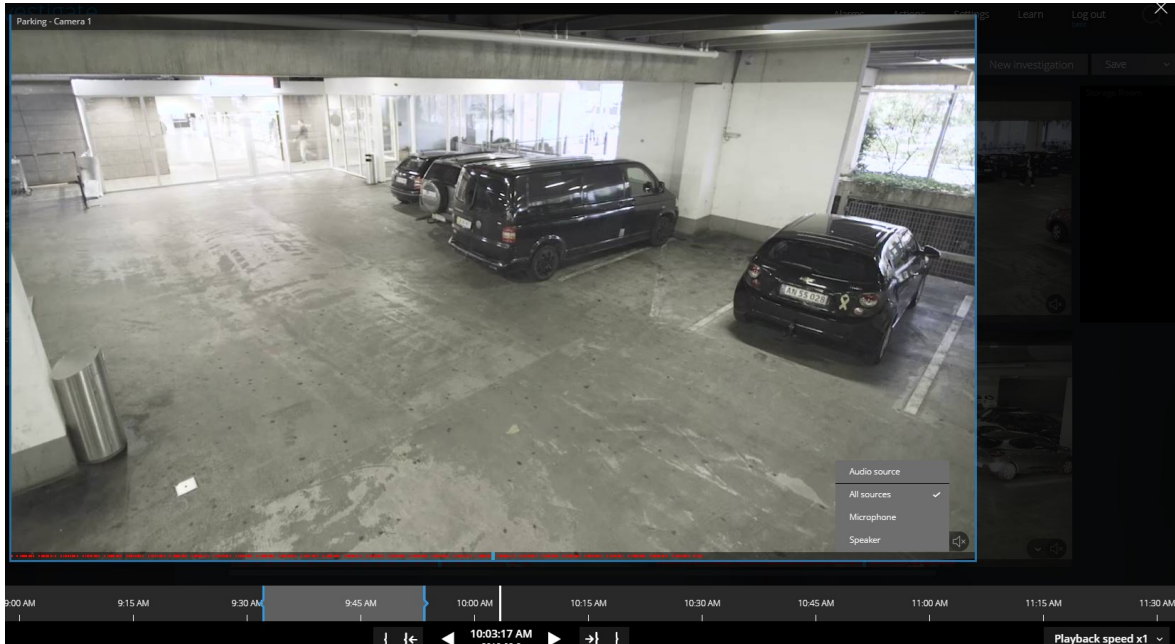
- ライブモードでカメラの録画から音声を再生します。
- 調査モードでカメラの録画から音声を再生します。

カメラツールバーで：

- 録音した受信音声を再生するには、ビデオ録画の再生中に  をクリックして音声の再生を開始します。



- 録音した受信音声と送信音声を再生するには、 をクリックして音声の再生を開始します。[音声ソース]リストで、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。オプションは以下のとおりです。
 - [すべてのソース] (デフォルト) - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します。
 - [マイク] - 受信音声のみを再生します
 - [スピーカー] - 送信音声のみを再生します

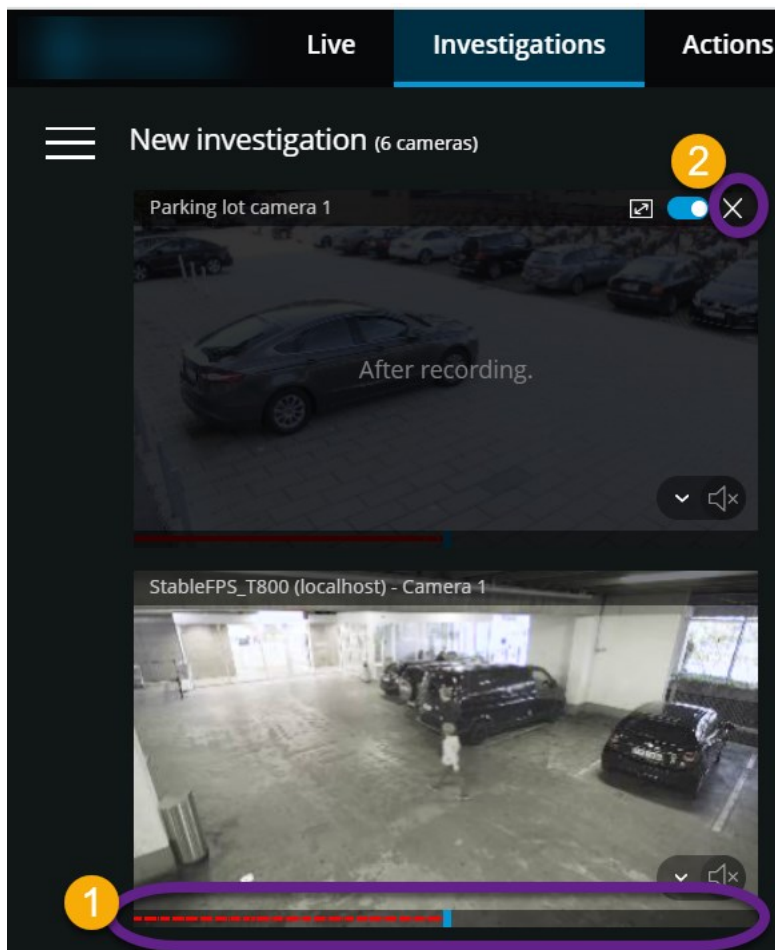


音声の再生は、ビデオ録画が存在し、録画を通常のスPEEDで再生する場合にのみ可能です。

複数のカメラからの録画映像 (説明付き)

[調査]タブでは、調査を作成せずに録画を再生できます。

カメラのビュー画面の下の、赤い連続した線①は、ビデオ録画がある時間を表します。



このモードでは以下が可能です:

- 再生するカメラを選択し、指定した時間帯²に録画がないカメラを削除します（ページ48の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。を参照）。
- 再生する録画の時間を指定します（ページ45の再生するビデオの時間を指定するを参照）。
- 録画のタイムスパンを指定します（ページ49の調査タイムラインの使用（説明付き）を参照）。
- 選択したカメラグループのすべてのカメラから録画を同時に再生します。
- 選択したカメラグループの特定のカメラのビデオ録画とともに音声再生を開始するか停止します（ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）を参照）。

再生するビデオの時間を指定する

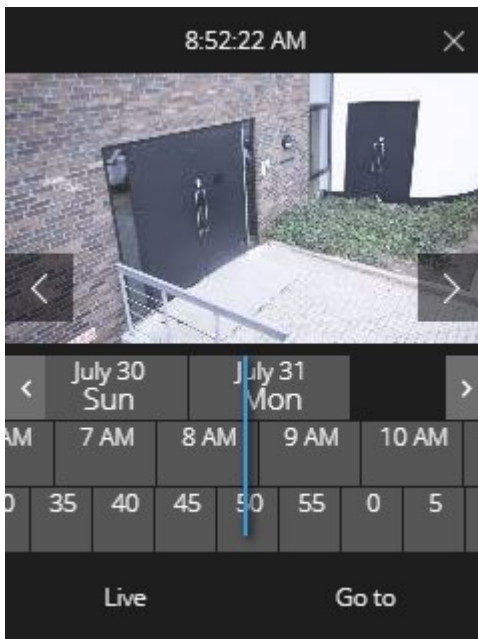


「特定の時間に戻り、その時間帯の映像を見る必要があります。」

特定の時間からビデオを再生するには、タイムピッカーを使用してください。タイムピッカーは、[ライブ]タブと[調査]タブの両方にあります。

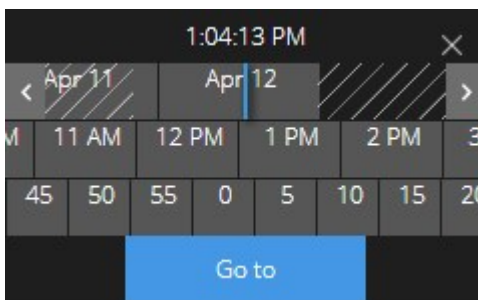
[ライブ]タブで：

1. カメラを見つけ、クリックします。
2. カメラツールバーで、[▶]をクリックし、ライブビデオを停止します。
再生コントロールバーが現れます。
3. 再生コントロールバーで、[🕒]をクリックし、タイムピッカーを開きます。



[調査]タブで、以下を実行します。

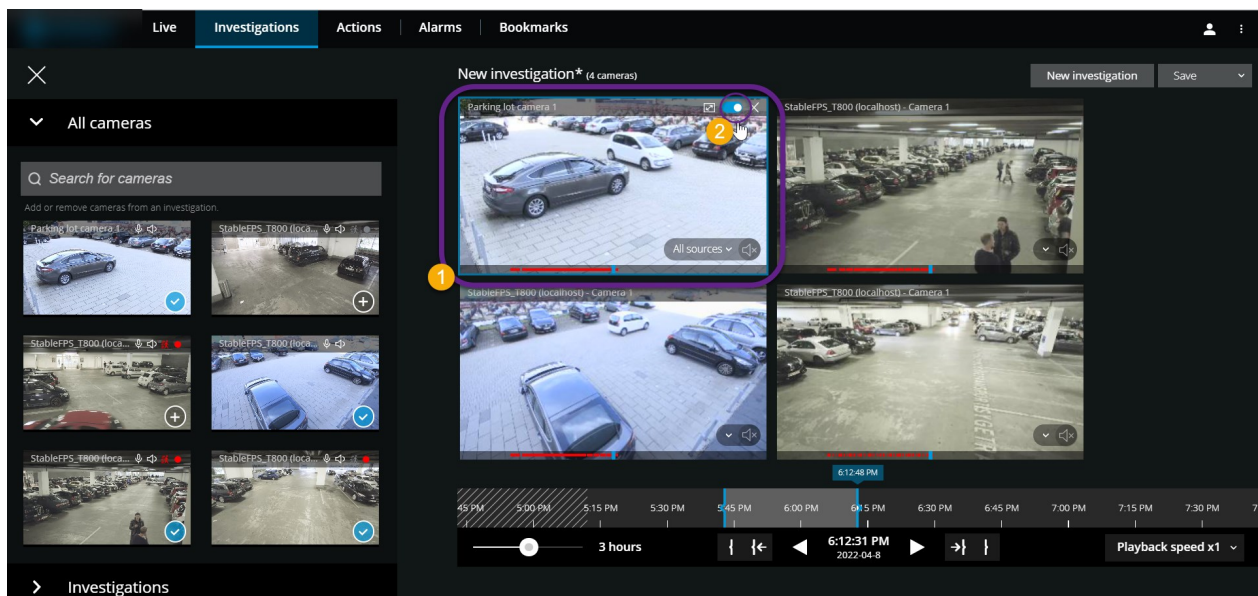
1. タイムラインバーで、[🕒]をクリックし、タイムピッカーを開きます。




タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。

アイテム	可能なアクション
	前や次のイメージを見る。(ライブタブ上のタイムピッカーに限る)。
	1週間戻る、または進む。
	日付を指定するには、日付スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された日付を表します。
	時刻を指定するには、時間スクローラーを左か右にドラッグしてください。青色の時間インジケータが、選択された時間を表します。
	分を指定するには、分数スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された分数を表します。
移動する	指定した時間からビデオを再生するには、クリックしてください。
ライブ	クリックしてライブビデオに戻ります ([調査]タブのタイムピッカーのみ)。

再生をオンまたはオフにする



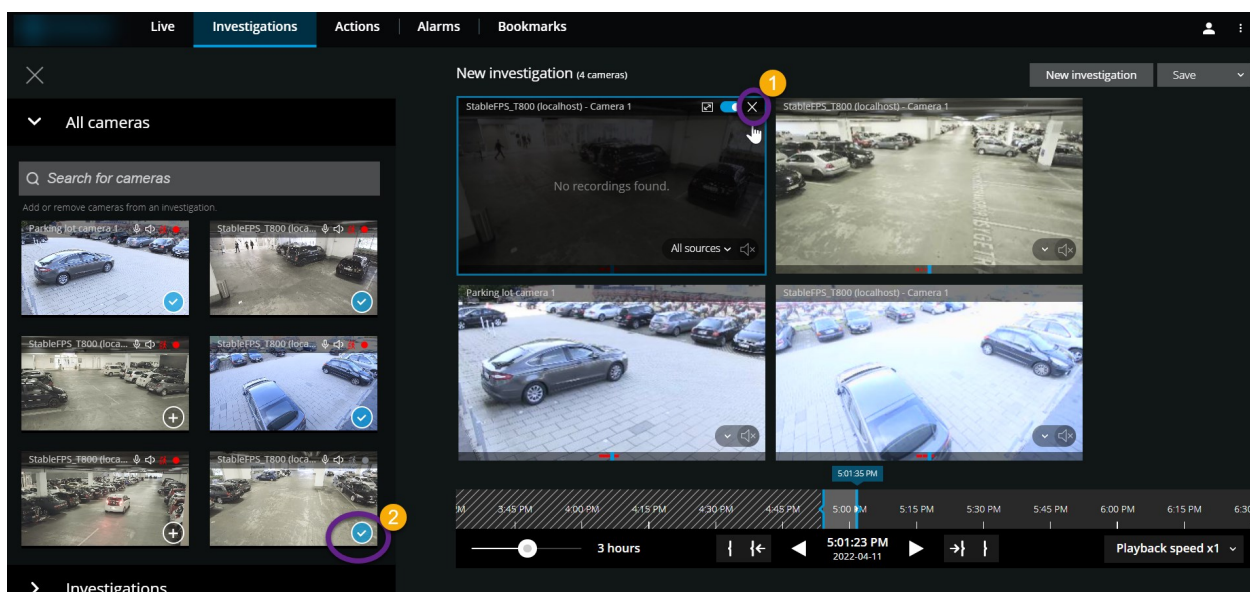
[調査]タブの調査で、以下を実行します。

- 再生を有効または無効にしたいカメラ ❶ の上にカーソルを当てます。
- ビデオ画面の左上 ❷ で、 をクリックして再生をオンまたはオフにします。



再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。



「映像を再生する前に、指定した時間帯に録画映像が含まれていないカメラを削除したいです。どうすればできますか。」



[調査]タブでは、以下の場合にカメラグループから不要なカメラを削除できます。

- カメラ ❶ の上にカーソルを置き、右上隅の  をクリックします。
- サイドパネルの  をクリックします。
- サイドパネルで、削除するカメラをダブルクリックします。

調査エリア内のカメラ (説明付き)

ライブモードで複数のカメラを見ている時に調査モードに切り替えると、同じ複数のカメラが調査エリアに現れます。



[調査]タブでは、ビューまたはグループ内の個々のカメラのみを閲覧できます。複製されたカメラは調査エリアには表示されません。

例：

- **[ライブ]**タブ上の**[プライベート]**フォルダーにいる場合:**[調査]**タブをクリックすると、**[プライベート]**フォルダーにあるすべてのカメラが調査エリアに表示されます。
- **[ライブ]**タブ上の**[ホーム]**ページにいる場合。**[調査]**タブをクリックすると、システムのすべてのカメラが調査エリアに表示されます。

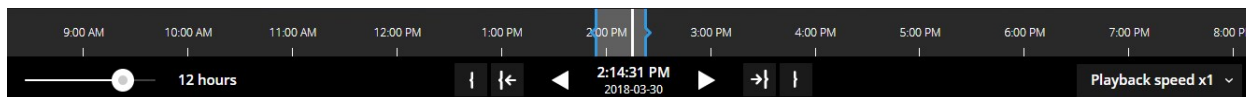
作成した調査で受信音声と送信音声を再生するには、以下を行う必要があります：



- 音声デバイス（マイクとスピーカー）の付いているカメラを追加します（[ページ8の受信音声の再生条件とページ8のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件](#)を参照）。
- 通常で速度でビデオ録画を順方向に再生します（[ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。








調査タイムラインの使用（説明付き）

調査内のタイムラインバーで、以下を指定できます。


- 調査対象の録画時間
- 調査対象の時間帯。



アイテム	可能なアクション
	録画時間を変更する場合、タイムラインスクローラーを左か右にドラッグしてください。タイムラインスクローラー内にある白い時間インジケータが、選択された時間を表します。
	ビデオを再生または逆再生する。

アイテム	可能なアクション
	<ul style="list-style-type: none"> ビデオの再生が行われた時間を確認します。 タイムラインバーのこのエリアをクリックすると、タイムピッカーが開きます。調査またはダウンロードを実行する録画の時間を選択するには、タイムピッカーを使用できます（ページ45の再生するビデオの時間を指定するを参照）。 <div style="background-color: #e1f5fe; padding: 10px; border: 1px solid #cfcfcf;">  <p>タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。</p> </div>
	<p>青い時間帯マーカーをクリックし、ドラッグして、調査またはダウンロードしたい録画の開始時刻と終了時刻を指定します。</p>
	<p>調査の開始または終了時刻と選択した時間を揃えてください。</p>
	<p>選択した時間と調査の開始または終了時刻を揃えてください。</p>
	<p>タイムラインバーの右下の[再生速度]リストから、映像の再生速度を選択します。デフォルト値はx1です。</p>
	<p>タイムラインバーの左下のスライダーをドラッグして、時間帯を変更します。この機能によって、ビデオを再生またはダウンロードする詳細な時間帯を設定できます。</p>

1つかそれ以上のカメラで調査を作成する



「オフィスにあるすべてのカメラからの、昨日の午前9時30分頃からの録画映像を調査したいので、1ヶ月分の録画を保管したいです。」

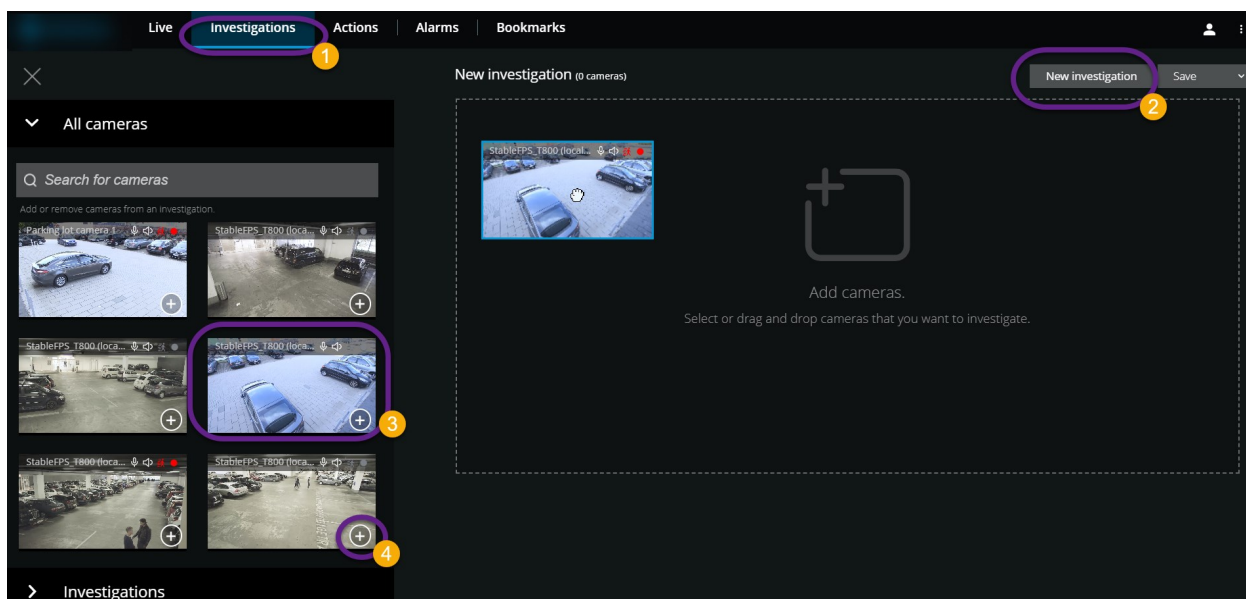
以下の場合、調査を作成してください：

- ビデオ録画がすでにシステムデータベースから削除されていても、その映像を回数制限なく好きなだけ再生するため、保存期間より長く録画映像を保管する場合。




デフォルトで、システムデータベース内のビデオ録画の保存期間は7日間です。有効にすると、モバイルサーバーでの調査の保存期間もデフォルトで7日間になります（[ページ13の録画および調査の保存期間と保管（説明付き）](#)を参照）。

- ビデオ録画をエクスポートし、後でダウンロードして当局と共有する場合。



[調査]タブ¹で、以下を実行します。

1. **新しい調査**²をクリックします。
サイドパネルが左側に開きます。
2. サイドパネルの[すべてのカメラ]で、調査したいカメラを参照して検索できます。
3. 以下を行うことで、1台または複数のカメラを追加できます：
 - 調査したいカメラ³をすべてクリックし、[新しい調査]エリアにドラッグ&ドロップします。
 - 追加したい各カメラ⁴の右下にあるをクリックします。

- 追加したいカメラをダブルクリックします。

最高18台のカメラを調査に追加できます。調査したいカメラのビューにもっと多くのカメラが含まれている場合は、2つのオプションがあります。



- **[カメラの追加]**を選択して、最初の18台のカメラを調査に追加します。
- **[空の調査を開く]**を選択して、調査に追加するカメラをカスタマイズします。

- タイムピッカーを使って、調査したい録画映像の時間を指定してください。

選択した時間は、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[ページ45の再生するビデオの時間を指定する](#)を参照）。

- タイムラインバーを使って、再生したい録画映像のタイムラインを指定してください。

選択したタイムスパンは、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[ページ49の調査タイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。

- [保存]** リストで **[名前を付けて保存]** を選択します。



[調査を保存する] フォームが開きます。

- [調査名]** 欄には、新しい調査の名前を入力してください。

- OK** をクリックします。

新しい調査の設定が保存されます。




ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc** キーを押すか、または右上の  をクリックします。

カメラを既存の調査に追加




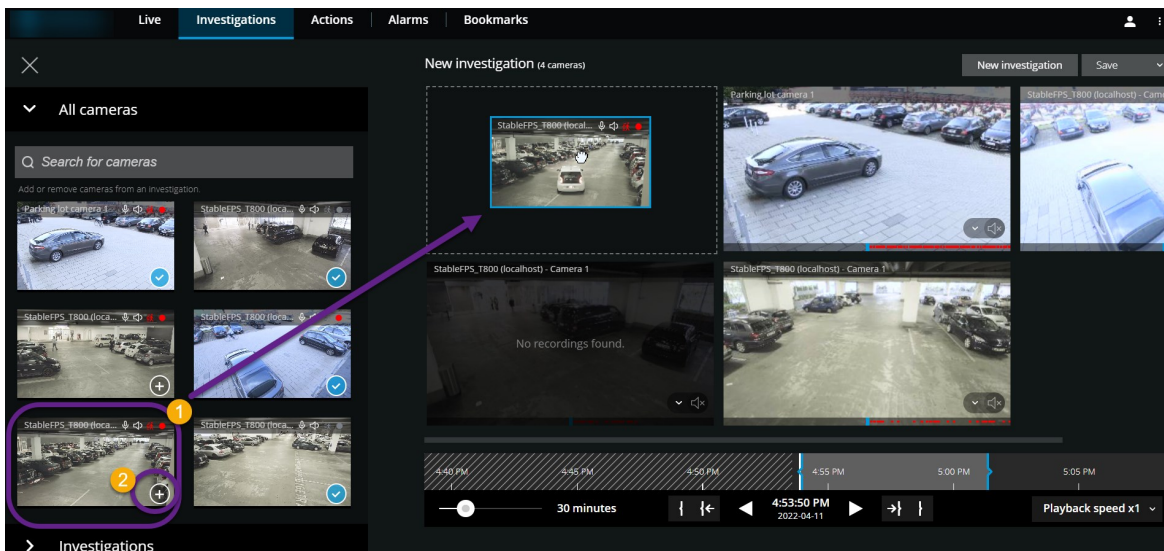
「既存の調査にもっとカメラを追加したいです。どうすればできますか。」

[調査] タブで  をクリックしてサイドパネルを開きます。

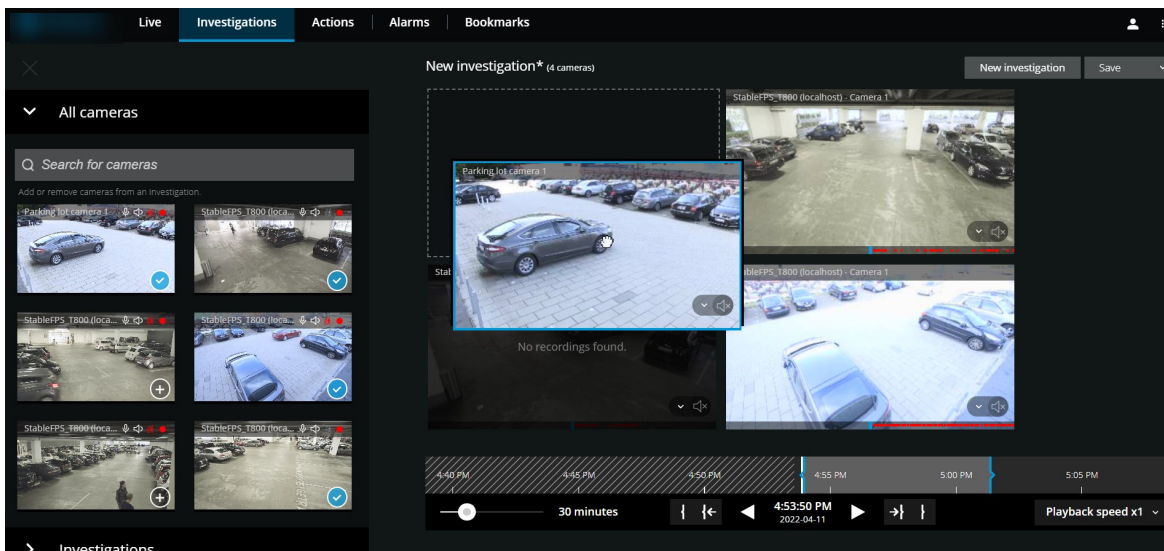
1. サイドパネルで **【調査】** をクリックします。
2. さらにカメラを追加したい調査まで進み、調査名をクリックします。
3. サイドパネルで **【すべてのカメラ】** をクリックします。 **【すべてのカメラ】** エリアに、利用可能なすべてのカメラがサムネイルとして表示されます。


4. 追加したいカメラまで移動します:

- カメラ①をクリックして、調査エリアにドラッグ&ドロップします。
- 各カメラ②の右下のをクリックします。
- 追加するカメラをダブルクリックします。



1. (オプション) 調査でカメラの順番を変更するには、動かしたいカメラをクリックしてドラッグ&ドロップします。



 [全てのカメラを検索する]欄で、名前でカメラを検索できます。



右下のチェックボックスが選択されている場合は、カメラはすでに追加されています。

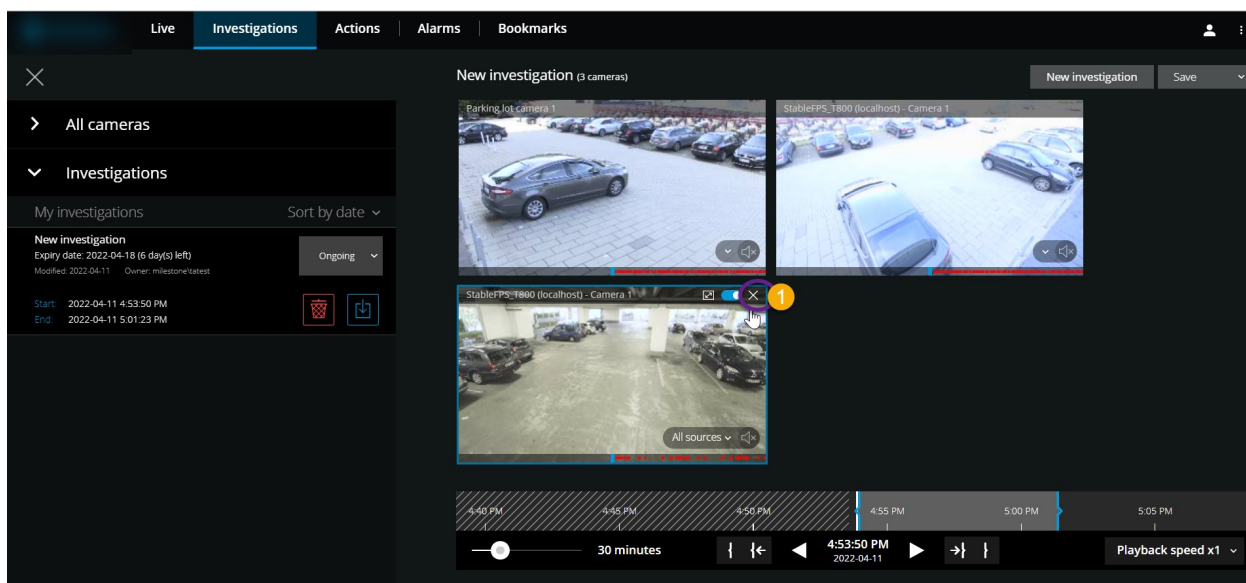


5. **保存**をクリックします。
6. ドロップダウンリストから、**[保存]**を選択します。


既存の調査からカメラを削除する



「複数の映像をダウンロードしたいが、カメラ1には関連する映像が録画されていません。調査から削除するにはどうしたらよいですか。」



既存の調査の**[調査]**タブで、以下を実行します。

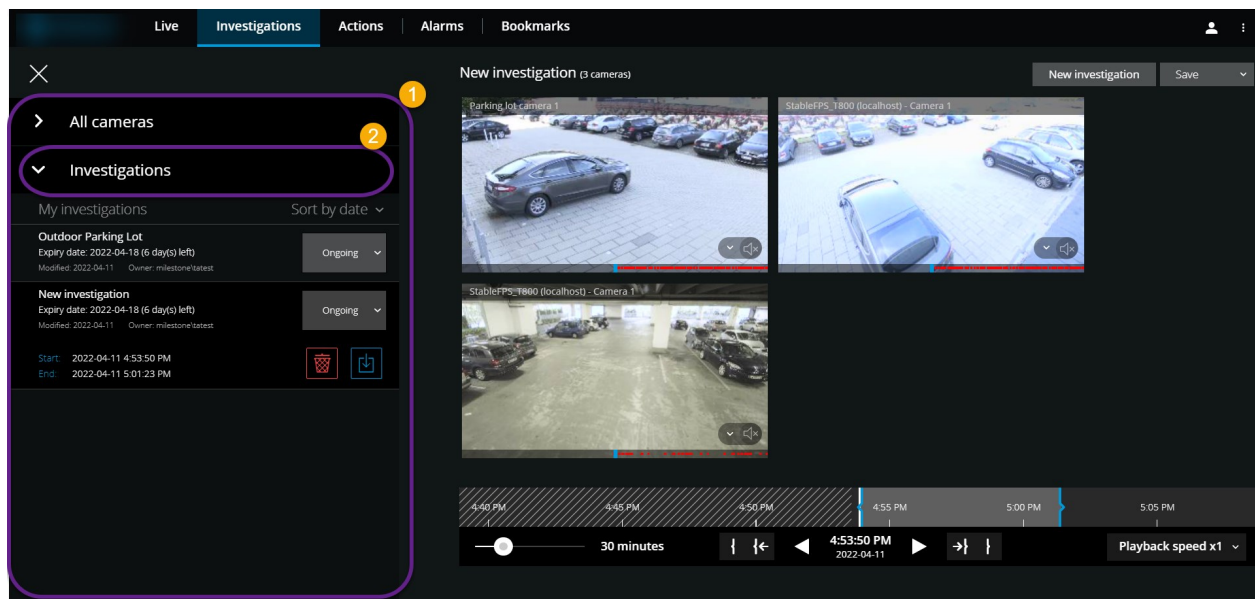
1. 調査から削除したいカメラにカーソルを当てます。
2. 調査からカメラを削除するには、右上①の  をクリックします。
3. **保存**をクリックします。
4. ドロップダウンリストから、**[保存]**を選択します。

すべてのカメラでカメラグループビューを開いて、カメラを調査から削除することもできます（[ページ48の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。](#)を参照）。

調査を更新または削除する



「既存する1つの調査の名前と状態を更新し、もう1つの調査を削除したいです。どうすればできますか。」







[調査]タブで[☰]をクリックしてサイドパネルを開きます。

サイドパネル①で：

1. [調査] ②をクリックすると、すべての調査が表示されます。
2. 自分の調査リスト内で、更新または削除したい調査を見つけ、クリックします。

アイテム	可能なアクション
[調査名]	クリックして既存の調査の名前を変更する。
有効期限	調査の保存期間が有効になっている場合は、調査の有効期限を確認します。

アイテム	可能なアクション
	調査を削除する。
	選択したビデオフォーマットで、調査の準備と、調査をダウンロードします（ ページ57の映像のエクスポートとダウンロードを準備する を参照）。
	調査の状態を [進行中] または [完了] に手動で設定する。
	以下によって、調査を分類する： <ul style="list-style-type: none"> • 日付。リストの上部にある直近の調査を表示します。 • 状態。リスト内の進行中の調査を最初に、完了した調査を最後に表示します。



調査を開き、調査に追加済みのカメラに接続された音声デバイスを切り替えると、以前接続されていた音声デバイスの音声再生が再生されます。アップデートを完了させてから新しい音声デバイスの音声再生を開始するには、最初にXProtect Web Clientを再起動し、**[保存]**をクリックしてこの調査を更新します(マイクまたはスピーカー付きカメラのみ)。

映像のエクスポートとダウンロードを準備する



「自分の調査をダウンロードして、後日警備員に見せたいです。どうしたらよいでしょう。」

XProtect Web Clientで利用可能なビデオ形式は以下の通りです：

フォーマット	説明
AVIパッケージ	大半のメディアプレイヤーで採用されている標準的ファイル形式です。迷っている場合は、こちらを選択してください。
XProtectパッケージ	<p>XProtect Smart Client - Player形式を表示できるのはXProtectのみです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;">  <p>XProtect Smart Client - Playerアプリケーションは、エクスポートされたデータに含まれません。アプリケーションは、XProtect Smart ClientからXProtect形式をエクスポートする場合にのみ含めることができます。</p> </div>
MKVパッケージ	録画カメラが使用するコーデックを選択します。必要なコーデックがインストールされている場合のみ映像を再生できます。



利用可能な形式はシステム管理者が指定します。セキュリティ上の理由により、モバイルサーバーでは、デフォルトですべての形式が無効になっています。

XProtect Web Clientでは、エクスポートの設定は以下の通りです。

- 再エクスポートは、すべてのビデオ形式で禁止されています。
- (オプション) エクスポートは、パスワードで保護できます。
- 256ビットAES暗号化
- デジタル署名が追加されます。



クライアントでサポートされているセキュリティ関連の機能の詳細については、Milestoneウェブサイトの製品概要ページにある完全な機能リストをご覧ください (<https://www.milestonesys.com/solutions/platform/product-index/>を参照)。

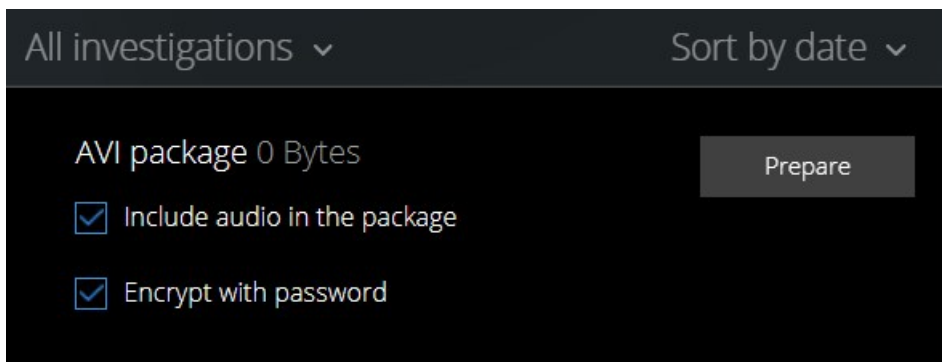
ビデオのエクスポートとダウンロードの準備の手順



ビデオのエクスポートやダウンロードを準備するには、特定のユーザー権限を保有している必要があります。エビデンスビデオを共有する際は、所属企業の規約に従ってください。

[調査]タブで、以下を実行します。

1.  をクリックします。
2. 該当する調査を開きます。
3. ダウンロードしたい調査をクリックします。
4.  をクリックします。
5. (オプション) 音声が含まれているビデオエクスポートパッケージを準備するには、**パッケージに音声を含める**チェックボックスを選択します。デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。
6. (オプション) ビデオのエクスポートパッケージを暗号化するには、**パスワードで暗号化**チェックボックスを選択します。デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。



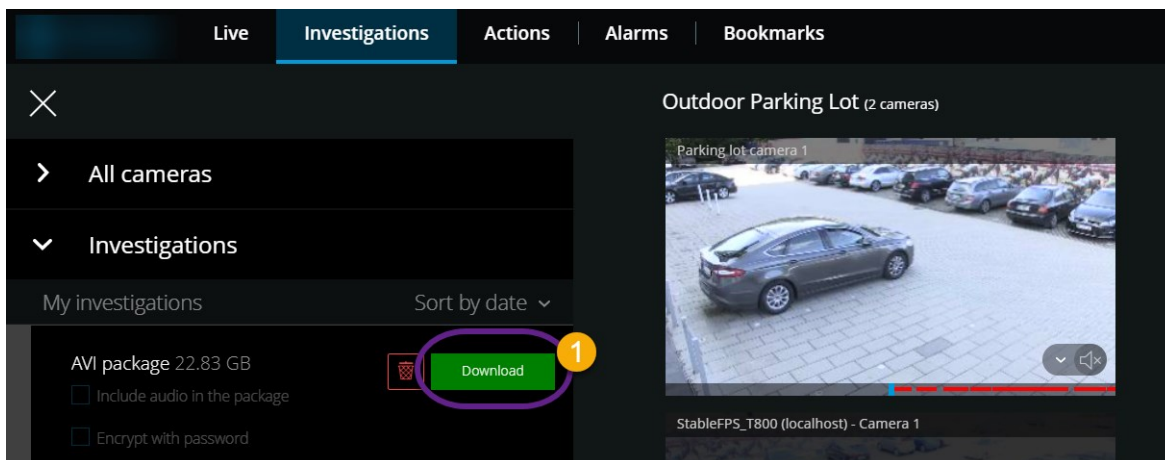
7. 希望するフォーマットで映像をダウンロードするには、**[準備する]**をクリックしてください。



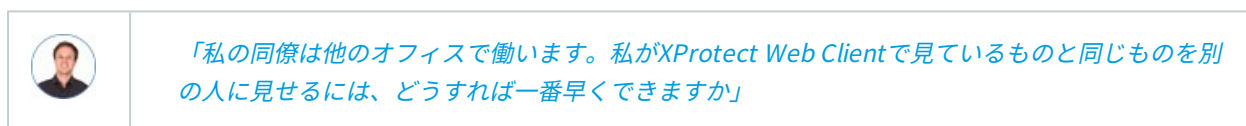
後で映像をエクスポートする準備をしたり、ダウンロードできます。準備されたエクスポートでは、調査に追加されたカメラの数と、録画映像の数が異なる場合があります。その理由は、そのカメラの指定した時間帯に録画映像が存在しない場合があるからです。

8. (オプション) ダイアログボックスでパスワードを作成し、エクスポートを暗号化して**設定**をクリックします。パスワードは、現在のパッケージエクスポートにのみ適用されます。

9. 準備されたビデオのエクスポートをダウンロードするには、**1**をダウンロードをクリックしてください。ブラウザのダウンロードフォルダー内にダウンロードされたファイルがあります。

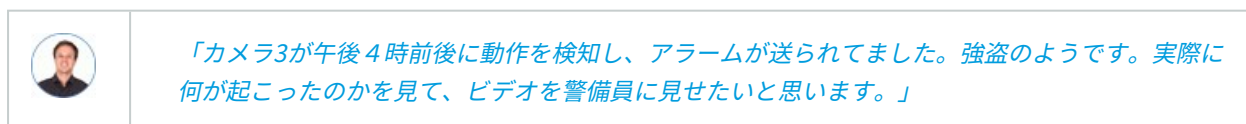


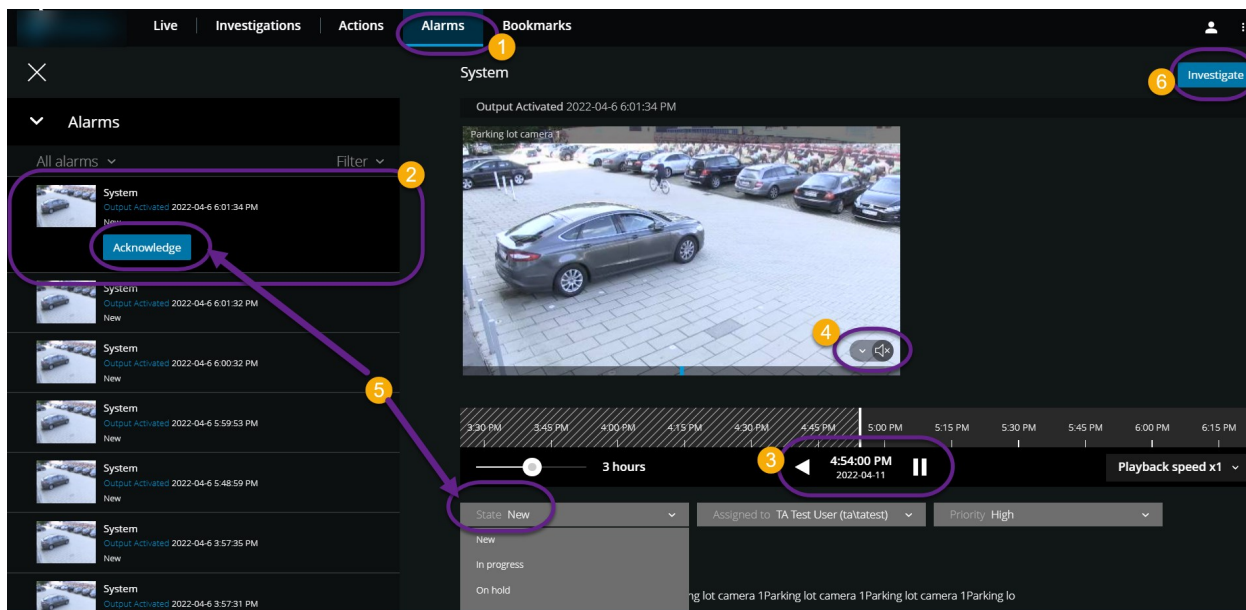
XProtect Web Clientページの共有（説明付き）



XProtect Web Clientのページ一つひとつに、固有のインターネットアドレスがあります¹。そのアドレスは、他のユーザーとの共有が可能です。ユーザーがWebブラウザ上でそのアドレスに進み、ログインすると、ユーザーは、あなたが共有したページを見ることができます。

アラームを表示





アラームタブ¹で：

1. ビデオの確認を希望するアラーム²を探し、クリックします。[フィルター]リストでは、アラームを状態別または優先度別にフィルタリングできます。
2. ビデオを逆再生または再生し、閲覧しているのイメージが撮影された時間を確認します³。
3. 通常スピードでビデオ再生をしている場合、ビデオ再生のために音声再生を開始または停止します⁴（[ページ42のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
4. 認識ボタンをクリック、あるいは別のアラームステータスオプションをリストから選択して、アラームのステータスを変更します⁵。
5. ビデオを後で見るため、または他者と共有するために保存するには、[調査]をクリックします⁶。
6. 「[ページ57の映像のエキスポートとダウンロードを準備する](#)」の手順を実行します。

他にアラームを起動し得るものとは？

- カメラが動作を停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーに侵入された。
- カメラでブラックリストに入っているナンバープレートが確認された。

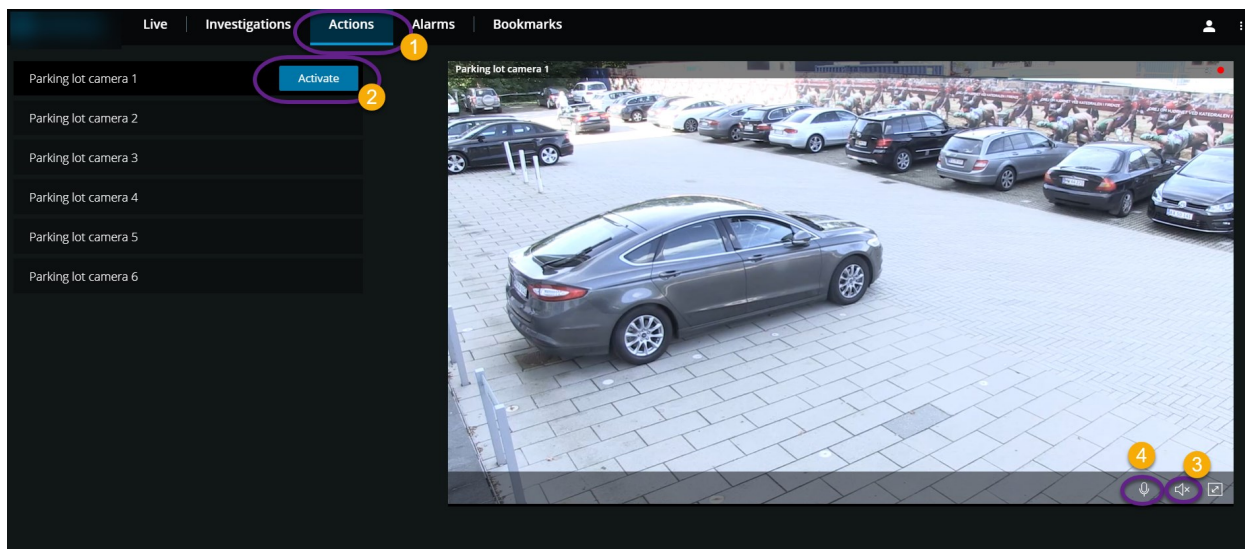


アラームを表示するには、アラームを設定し、必要なユーザー権限を付与することをシステム管理者に依頼します。

アクションの有効化



「来客者のために、フロントドアがボタンのプッシュで開くようにしたいです。」



アクションを有効化することで、お使いのビデオ監視システムのイベントがトリガされます。たとえば、フロントドアを開いた（アクション）とき、カメラ3がビデオの録画を開始（イベント）します。

[アクション] ① タブを開きます：

1. 有効化したいアクションを見つけます。
2. たとえば **[アクティベート]** ② をクリックすると、玄関ドアが開きます。
3. オプション。ライブ インカム音声 ③ をスタートまたはストップします（スピーカー付きカメラのみ）。
4. オプション。🔊 プッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリック & ホールド 音声の送信を終了するには、🔊 アイコンをリリースします ④（スピーカー付きカメラのみ）。

ライブビデオを視聴する場合は、**[ライブ]** タブでもアクションを有効化できます（「[ページ22のライブビデオを見る（説明付き）](#)」を参照）。

アクションの例にはどのようなものがありますか？

- ドアの開け閉め。
- 電灯のオン／オフ。
- サイレンの有効化／無効化。



アクションを表示し、有効化するには、アクションを設定し、必要なユーザー権限を付与することをシステム管理者に依頼してください。

PTZコントロール

マウスを使用して、PTZ（パン/チルト/ズーム）カメラを動かす方法を選択します。

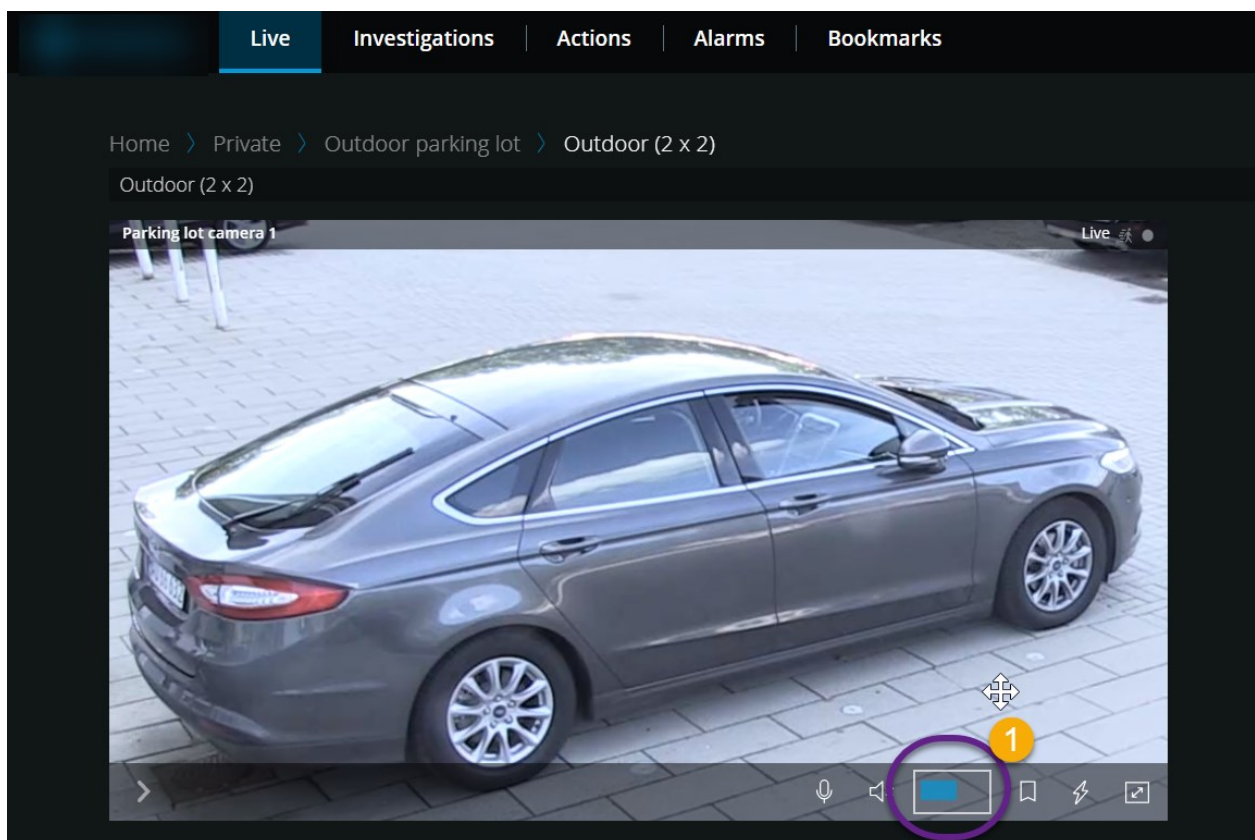
スワイプ：



1. ビデオの上にカーソルを動かします。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
3. マウスをドラッグし、左ボタンから指を離します。

タップしてホールド：

1. ビデオの上にカーソルを動かします。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
またはマウスをクリック・アンド・ドラッグします。

デジタルズームの使用



1. **ライブ**タブでカメラを見つけてクリックします。
2. ビデオの上にカーソルを動かします。
3. ズームイン／アウトするには、マウスでダブルクリックしてスクロールします。
4. ズームインした場合、お使いの  カーソルを興味のある領域までクリック・アンド・ドラッグします。ズームエリアインジケータ  は方向のナビゲーションに役立ちます。

光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）

1. **ライブ**タブにて、PTZカメラを見つけ、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを動かします。
3. ズームイン／アウトするには、マウスでスクロールします。

または  をクリックし、それから   をクリックしてズームします。



録画の最中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

PTZ コントロールセクションでマウスを使用したPTZ（pan-tilt-zoom）カメラの動かし方をご覧ください（[ページ 63のPTZコントロール](#)を参照）。

アップグレード

XProtect Web Clientのアップデート

最新バージョンのXProtect Web Clientで作業するには、システム管理者にXProtect Mobile Serverサービスを更新するように依頼してください。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestone Systemsのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

